施設カルテ (1)施設基本情報シート

1.台	帳番号	4390		(1)施設基2			<u></u>	保養観光	 施設			
2.施		宮崎市自	 然休養村 1	センター				域別分類	広域·市均				
	在地(町名・番地)	加江田68		_· •									
6.バ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	休養村セ	ンター(40n	n)			设置条		 宮崎市自然休養村センター条例				
7.開	設年月日	昭和53年		<u> </u>		17.市の計画			施設のあり方を検討中				
		_	≸(木花·青	島活性化プ	ロジェクト							Contract of	
9.指		·	4月1日~5	平成30年3	月31日								
10.月	月途地域	その他				18 外	.				A THIS		
11.則	才産区分	公共用				観							
(設記	施設概要 置の経緯や背景、施 の特徴や必要性など)	ため、休憩 当施設は、	東の増進及で 室や浴室な 年間約10 備の老朽化	どを備えて 万人の利用	設置した。 者がいる	19 内 部							
13.主	Eな利用者	市内在住0	060歳以上	の市民		20.⅓	避難凡	所の指定(標高)	指定避 難所		23.20	m	
14.禾	刊用者駐車可能台数	95台				21.‡	投票所	听の指定	無				
22.	土地面積		-	11,458.76	m²		総延	床面積	1,647.28 m²			m ^²	
	現況地目	宅地					取得個	面額計(開始時簿価計)	24	5261千円		(-)	
情	土地所有形態	所有					階数	・構造(主たる建物)	地上2階・	RC∙鉄筋⊐	ンクリート		
報	借受面積			0.00	m³	24. 建	建築	年(主たる建物)	1978年				
	(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	F度決算	物	法定	点検(主たる建物)					
23. 利	(色力 羊色)	人·食	前年比%	人·食	前年比%	情報	建物	所有状況	市有物件				
	利用者数	105,703	98.2	107,594	ı		借受	面積	0.00			m²	
報	開館日数	309	100.3	308	_		耐震	対応(主たる建物)) 対応済				
	利用量率	342	98.0	349	-	未利用スペース				0	m [*]		
	(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	F度決算			(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	F度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%				千円	前年度比%	千円	前年度比%	
	市の収入計① (②+③)	42	100.0	42	-			支出計⑧ 2管理料除く)	4,388	81.8	5,362	_	
	使用料(減免後)②	0	-	0	-		施	設のコスト	3,638	78.9	4,612	_	
	その他③	42	100.0	42	_		事	業のコスト	0	-	0	-	
25. 収	≪参考≫ 使用料減免額④	7,888	96.4	8,181	-	26. 支	人	に係るコスト	750	100.0	750	-	
入	指定管理者の収入計⑤	93,735	97.4	96,253	_	出	指定	管理者の支出計⑨	94,754	101.8	93,044	_	
	指定管理料⑥	19,158	97.3	19,694			施	設のコスト	15,570	99.1	15,711	_	
	利用料金収入	32,170	98.4	32,693	_		自	主事業以外のコスト	4,991	102.7	4,859	_	
	自主事業収入	42,277	96.7	43,736	_		自	主事業のコスト	28,740	104.5	27,495	_	
	その他収入	130	100.0	130			人	に係るコスト	45,453	101.1	44,979	_	
	収入合計⑦	93,777	97.4	96,295	_		支出	合計⑩	99,142	100.7	98,406	_	
(4)÷	用料減免割合(%) -(②+④))	100	100.0	100	_	28.	工事語	青負費∙修繕費	2,791	60.5	4,612	_	
収入	設経営における実質的な (⑦-⑥)	74,619	97.4	76,601	-	市	(8)-	担額⑪ ·①+⑥)	23,504	94.0	25,014	-	
30.指 (⑤-	定管理者の収支差引 -⑨)	Δ 1,019	Δ 31.8	3,209			市負担 (⑪÷	坦割合(%) ·⑩)	24	93.3	25	_	
32.旅	拖設所管課	森林水産	課			33.方	施設主	上管課	森林水産	 課			

1.台	帳都	6号 4390	3.利]用用途別分類	保養観光施設				
2.旅	設名	宮崎市自然休養村センター	4.利]用圏域別分類	広域·市域				
		5.基础	き 評 位	5					
	評価指	A:品質:平均点以上、供給·財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給·財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給·財務:平均点未満					D		
	標	D:品質:平均点未満、供給·財務:平均点未満				40.0			
		品質評価の評価(偏差値)				49.8			
		供給評価・財務評価の評価(偏差値)					46.2		
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均		
	1		指	築年数(棟平均)	27.200 年	48.8	25.800	-	
	品	築年数(棟平均)の評価が低い。	標	劣化度点数(棟平均)	0.800 件	55.5	1.900		
	質評	クレーム点数の評価がかなり低い。	の結	耐震対応(棟平均)	5.000 点 3.000 点	54.9 34.2	4.700	点点	
	価		果	クレーム点数 バリアフリー未対応(棟平均)	3.000 点 0.100 件	55.6	4.500 0.900	件	
				評価値	0.100 11	49.8	0.500	11	
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均		
				日あたり利用者数	342.000 人	46.4	482.000	人	
	2		指	100/2747/11	0.12.000	10.1	102.000		
	供	利用量率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。	標	建物1㎡当たりの利用量率	0.208 人	41.1	0.687	人	
	給評	市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	の結	建物1㎡当たりの利用量率	台			台	
	価		果	土地1㎡当たりの利用量率	人			人	
				市負担額千円当たりの利用量	4.497	43.5	49.116		
				評価値		43.7			
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均		
	3		指	市負担割合	23.710 %	52.0	28.430	%	
		建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	標の	市負担額(ソフト)前年度比 建物1㎡当たりの市負担額	101.500 %	50.7	105.033 10.726	% 千円	
	務 利用量当たりの市負担額の評価が低い。 の 結 評	土地1㎡当たりの市負担額	14.268 千円		10.726	千円			
		利用量当たりの市負担額	0.222 千円		0.149	千円			
				評価値		48.7			
	品質評価の分布図品	築年数(棟平均) 75.0 50.0 がリアフリー未対 応(棟平均) クレーム点数 が開震対応(棟平均)	供給評価・財務評価の分布図	利用量当たりの 担額 土地1㎡当たりの市 負担額 建物1㎡当たりの市 負担額 市負担額(ソフト)前 年度比	市負担	建物1㎡			
	質評価(横)/供給・財務評価(縦)	55 65 55 55 40 45 50 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40	供給評価(横)/財務評価(縦)	25 30 35 40	70 65 60 55 55 45 40 40 35	♦	70 70		

				平成29年
台「	帳番号	4390	利用用途別分類	保養観光施設
施	设名	宮崎市自然休養村センター	利用圏域別分類	広域·市域
1	基礎評価の分析(総 括)	品質評価、供給・財務評価ともに平均	点未満となっている。	•
2	品質評価分析 ※平 均点未満の評価指標、平均点未満の原 因等	①【評価指数】築年数(棟平均) 【原因②【評価指数】クレーム点数 【原因】? 結露が生じるなどといった建物の構造	済室、脱衣所、休憩室の)スペースが狭いとの苦情や脱衣所に
3	平均点未満の評価	①【評価指数】日あたり利用者数【原べると少ないため。但し、本施設は、当②【評価指数】建物1㎡当たりの利用量③【評価指数】市負担額千円当たりの	á初55,000人の利用者を 量率 【原因】他の施設に	を想定して設置された。 こ比べ利用者数が少ないため。
4	平均点未満の評価	①【評価指数】市負担割合 【原因】入 に係る修繕等の負担が大きいため。 ②【評価指数】建物1㎡当たりの市負担 修繕における工事請負費や修繕費等	望額 【原因】指定管理料	
5	定性的な要素の分析 (総括)	市全体に同じ利用用途の施設が点在	している。また、民間に	も、同じ利用用途の施設がある。
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名	青島シーガル街区公園、宮崎市消防の	团木花分団第8部消防[団車庫
7	利用圏域内にある市 の類似(利用用途別 分類が同じ)施設の 有無。有の場合は施 設名	宮崎市津倉市民農園管理棟、宮崎市 市道の駅田野、高岡温泉やすらぎの組 管理棟、宮崎市道の駅フェニックス、フ ふるさと特産品センター(ビタミン館)、	郡、椿山森林公園、宮崎 'ローランテ宮崎、宮崎r	寄白浜オートキャンプ場、青島海水浴 [‡] 市フェニックス自然動物園、道の駅高
	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	ANAホリデイ・インリゾート宮崎、青島 ドホテルほか	サンクマール、ルートイ	ングランティア青島太陽閣、青島グラ
9	防災対策施設として の位置づけの有無。 有の場合は内容	指定避難所		
10	交通事情(幹線道路 および公共交通機 関)の状況	国道220号線南バイパスから県道377- た位置にあり、施設の敷地内にバス停		
11		宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年1 【将来の人口】355,433人(平成52年1		
12	将来の修繕更新に係 る見込み(建て替え の時期・事業費(概 算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】6.6億円程	!度	
13	その他総合評価に勘 案すべき事項(包括 外部監査の結果・対 応、他自治体との比 較など)	包括外部監査対象外。利用者の大部 ての交流の場となっている。また、他の		

		(2)他設語			ᄑᆣᅂᄯᅘ						
<u>ل</u> اء -	E 平 口	施設評価(H29)		/D 美知业振訊	平成29年度						
	帳番号 	4390	利用用途別分類	保養観光施設							
施	设名	宮崎市自然休養村センター	利用圏域別分類	広域·市域							
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)、機能の評価(案)とも 量の最適化」の取り組みとして、建物は 取り組みとして、機能は、施設のあり方	は建て替え等を含めあり	力について検討を行う							
15	建物の評価(案) ※ 継続、改修・更新、処 分(廃止、売却・譲 渡、貸付)から選択		ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討								
16	建物の評価(案)の 理由	当施設は特に地元住民を中心に利用 討を進める時期に来ている。建物を存	評価の品質については平均点未満であり、開設して増築や改修工事で約40年を経過している。 設は特に地元住民を中心に利用者が多いことから、今後は、大規模な改修や建て替え等の検 進める時期に来ている。建物を存続する手段の一つとして、将来的には民間への譲渡等も視野 れながら施設のあり方について検討していく。								
	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組(案) ※15が 「処分」以外のとき	計画的な保全に取り組む。									
18	機能の評価(案) ※ 継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択		。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討								
19	機能の評価(案)の 理由	供給・財務評価指数が低いため、施設	のあり方について検討	する。							
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組(案) ※18 が「廃止」以外のとき	施設のあり方について検討し、市負担	額を削減する。								
21	※「総量の最適化」、 「質の向上」、「投資 の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が 行政の役割として継続して保有する施 約、民間への売却・譲渡に取り組み、が 地域が主体となって自立経営が見込ま 財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証したよ も設の数・面積を削減す	:で、施設の長寿命化、ホ する。	機能の統合・集						
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見あり(別紙 4~	~5ページ参照)								
24	アンケート(施設利用者)	意見あり(別紙 14ページ参照)									

			<u> </u>		平成29年度
台「	長番号	4390	利用用途別分類	保養観光施設	1
施	设名	宮崎市自然休養村センター	利用圏域別分類	広域·市域	
26	総合評価(総括)	建物の評価、機能の評価ともに継続。 化」の取り組みとして、建物は建て替え として、機能は、施設のあり方について	等を含めあり方につい	て検討を行う。「質の向.	
	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分 (廃止、売却・譲渡、 貸付)から選択	継続。ただし、平成32年度までに施設の	のあり方を検討		
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質については平均点未治 当施設は特に地元住民を中心に利用 討を進める時期に来ている。建物を存 に入れながら施設のあり方について検	者が多いことから、今後 続する手段の一つとして	は、大規模な改修や建	て替え等の検
29	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組 ※28が「処 分」以外のとき	計画的な保全に取り組む。			
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択		のあり方を検討		
31	機能の評価の理由	供給・財務評価指数が低いため、施設	のあり方について検討	する。	
32	将来の市負担額(ソ フト)を削減する具体 的な取組 ※31が 「廃止」以外のとき	施設のあり方について検討し、市負担	額を削減する。		
33	の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が 行政の役割として継続して保有する施 約、民間への売却・譲渡に取り組み、が 地域が主体となって自立経営が見込ま 財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 施設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、橋 る。	態能の統合・集

施設カルテ (1)施設基本情報シート

1.台	帳	番号	4480		(1) 施設基			 用途別分類	保養観光	 施設		
2.施	設	2名	宮崎市道	の駅フェニ	ックス		4.利	用		広域·市域			
5.所	在	地(町名・番地)	内海381-	1			15.	5.設置根拠法令					
6./ヾ	ス	 .停	道の駅フェ	ニニックス(20m)		16.	设置		 宮崎市道の駅フェニックス条例			
7.開	設	生年月日 1	平成17年	4月16日			17.ī	市の	 D計画	施設のあり方を検討中			
8.施言	设	運営形態(指定管理者)	指定管理者	首(フェニック	7ス運営株式	式会社)			1000	200			
9.指	定	空管理期間	平成29年	4月1日~ ⁵	平成34年3	月31日							
10.月	用i	金地域	その他				18 外		A		***		
11.則	١		公共用				観	ļ					
(設	置	設概要 の経緯や背景、施	宮峠域食インよ駅からないと指すの代表を映した。	高めるとと 品を販売する 用の建物(I 引から買収し 品の販売所 、、再整備し	ともに、青原なため、平成日フェニックノ、通行車両所の機能をした。なお、こ	島・内海地	19 内 部						
13.主	ÈΖ	な利用者	市民、観光	客			20.	旺 葉	惟所の指定(標高)	_	<u>!</u>	48.30	m
14.禾	ij,	用者駐車可能台数	103台				21.‡	安男	票所の指定	無			
22.	t	-地面積		4	48,924.05	m [°]	総延床面積		1,047.53 m ²				
	瑪	見況地目	宅地					取	得価額計(開始時簿価計)	3	2662千円		(-)
情	t	- 地所有形態	所有					階	数・構造(主たる建物)	地上3階・	RC•鉄筋⊐	ンクリート	
報	偣	昔受面積			0.00	m²	24. 建	建	築年(主たる建物)	1965年			
	,	区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	丰度決算	物	法	定点検(主たる建物)	対象			
23. 利	(区刀 辛也	人·食	前年比%	人·食	前年比%	情報	建	物所有状況	市有物件			
用	禾	川用者数	559,123	94.6	591,076	-		借	受面積		m²		
情 報	開	開館日数	365	100.0	365	-		耐	震対応(主たる建物)	_			
	禾	川用量率	1,532	94.6	1,619	-		未	:利用スペース			0	m [*]
		(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	丰度決算	(EA) ** (EA)		平成28年	丰度決算	平成27年	丰度決算	
		(区力・単位)	千円	前年度比%	千円	前年度比%			(区分•単位)	千円	前年度比%	千円	前年度比%
		iの収入計① ②+③)	282	97.6	289	-			の支出計⑧ 旨定管理料除く)	6,929	194.1	3,570	_
		使用料(減免後)②	0	-	0	-			施設のコスト	4,679	354.5	1,320	_
		その他③	282	97.6	289	-			事業のコスト	0	_	0	_
25.		≪参考≫ 使用料減免額④	0	_	0	-	26.		人に係るコスト	2,250	100.0	2,250	_
収入	指	前定管理者の収入計⑤	29,866	95.0	31,446	-	支出	指	定管理者の支出計⑨	31,715	98.7	32,131	_
		指定管理料⑥	0	-	0	_			施設のコスト	17,788	105.8	16,808	-
		利用料金収入	29,866	95.0	31,446	-			自主事業以外のコスト	3,190	88.5	3,606	-
		自主事業収入	0	_	0	-			自主事業のコスト	0	_	0	-
		その他収入	0	_	0	-			人に係るコスト	10,737	91.6	11,717	-
	43	又入合計⑦	30,148	95.0	31,735	-		支	出合計⑩	38,644	108.2	35,701	-
		料減免割合(%) ②+④))	-	_	-	-	28.	ΙĘ	事請負費·修繕費	1,026	87.9	1,167	-
29.施	設	※ 経営における実質的な (*) 一⑥)	30,148	95.0	31,735	-			負担額⑪ ③一①+⑥)	6,647	202.6	3,281	-
	定	管理者の収支差引	△ 1,849	269.9	△ 685	-		市	<u>負担割合(%)</u> 負担割合(%) D÷⑩)	17	187.2	9	-
			観光戦略	課			33.施設主管課			観光戦略課			

1.台	帳都	5号 4480	3.利]用用途別分類	保養観光施設			
2.施	設名	宮崎市道の駅フェニックス	4.利]用圏域別分類	広域·市域			
		5.基础	芒評 個	5				
	評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満 品質評価の評価(偏差値) 供給評価・財務評価の評価(偏差値)					B 43.1 56.1	
		庆和时间 X1367111100671111111111111111111111111111	ı	5.7. /TT 415. 4.TT	亚世20年度	后关法		
	品質	築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。 クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	1234	評価指標 築年数(棟平均) 劣化度点数(棟平均) 耐震対応(棟平均) クレーム点数 パリアフリー未対応(棟平均) 評価値	平成28年度 48.800 年 4.000 件 5.000 点 4.000 点 1.500 件	偏差値 30.6 39.5 54.9 44.7 45.8 43.1	平均 25.800 1.900 4.700 4.500 0.900	
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
	② 供給		の	日あたり利用者数建物1㎡当たりの利用量率	1,532.000 人	77.1 64.4	482.000 0.687	人人
	評価		結果	建物1㎡当たりの利用量率	台			台
	123		未	土地1㎡当たりの利用量率 市負担額千円当たりの利用量 評価値	84.117	55.1 65.5	49.116	人
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均	0.4
	3		指	市負担割合 市負担額(ソフト)前年度比	17.200 % 265.900 %	54.8 20.1	28.430 105.033	% %
	財務	市負担額(ソフト)前年比の評価がきわめて低い。	標の	建物1㎡当たりの市負担額	6.345 千円		105.033	% 千円
	評		結	土地1㎡当たりの市負担額	千円		10.720	千円
	価		果	利用量当たりの市負担額	0.012 千円		0.149	千円
				評価値	1	46.7		
	品質評価の分布図品	第年数(棟平均) 75.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0	供給評価・財務評価の分布図	利用量当たりの 担額 土地1㎡当たりの市 負担額 建物1㎡当たりの市 負担額 市負担額(ソフト)前	市負担	◆ 建物1r		
	5質評価(横)/供給・財務評価(縦)	25 30 35 40 45 50 55 70 55 30	供給評価(横)/財務評価(縦)	25 30 35 40	55 55 55 55 55 55 55 55 55 55 55 55 55	60 (5 [†] 70	

				平成29年度
台「	帳番号	4480	利用用途別分類	保養観光施設
	设名	宮崎市道の駅フェニックス	利用圏域別分類	広域·市域
1	基礎評価の分析(総 括)	品質評価は、店舗が築50年を経過し [*] 額が少ないことから供給・財務評価は、		
2	均点未満の評価指	①【評価指標】築年数・劣化度点数【原 ②【評価指数】クレーム点数【原因】施 回程度。指定管理者から施設修繕の意 ③【評価指数】バリアフリー未対応【原	設老朽化に伴い、におし 意見が年に数回ある。	いなどの利用者からのクレームが年に1
3	供給評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	なし		
4				託の支出が発生し、市負担が増加した
5	定性的な要素の分析 (総括)	市全体に同じ利用用途の施設が点在し	している。また、民間に	も、同じ利用用途の施設がある。
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名	なし		
7	利用圏域内にある市 の類似(利用用途別 分類が同じ)施設の 有無。有の場合は施 設名	野総合案内施設、高岡温泉やすらぎの)郷、椿山キャンプ場、 f市青島ビーチセンター	市田野物産センター、宮崎市道の駅田 椿山森林公園、宮崎市自然休養村セン 、フローランテ宮崎、宮崎市フェニックス の夢、城の駅
	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	道の駅としてはないが、食事と物販販 ある。	売をする施設として、港	あおしまやデモン・デ・マルシェなどが
9	防災対策施設として の位置づけの有無。 有の場合は内容	防災用備蓄品倉庫		
10	交通事情(幹線道路 および公共交通機 関)の状況	県道内海加江田線沿いの位置にあり、 比較的良い。	近くには、バス停留所	が設置されているなど、交通事情は、
11		宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10 【将来の人口】355,433人(平成52年10		
12	将来の修繕更新に係 る見込み(建て替え の時期・事業費(概 算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】3.2億円程	!度	
13	外部監査の結果・対			人が来場する観光施設である。県内は 景観と施設周辺に整備された花壇公園

			<u> </u>		亚代00左帝						
ᄼᅪ	E 采 口	施設評価(H29		/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	平成29年度						
	帳番号 5.2	4480	利用用途別分類	保養観光施設 広域·市域							
他記	设名	宮崎市道の駅フェニックス	利用圏域別分類	仏墺・中墺							
14	総合評価(案)(総 括)	建物の評価(案)、機能の評価(案)ともる。 本施設は年間来場者も多く、本市を代 超え、建物全体の老朽化も著しい。その	表する観光施設の一つ	であるが、店舗の建築							
15	建物の評価(案) ※ 継続、改修・更新、処 分(廃止、売却・譲 渡、貸付)から選択	継続。ただし、平成32年度までに施設の	。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討								
16	建物の評価(案)の 理由	基礎評価の品質は、平均点未満である 備をはじめ、建物全体の老朽化が著し	楚評価の品質は、平均点未満である。本施設は、店舗が築50年を超え、屋上防水・外壁・排水設 にはじめ、建物全体の老朽化が著しい状態である。								
	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組(案) ※15が 「処分」以外のとき	将来の修繕更新費用を削減するために	その修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。								
18	機能の評価(案) ※ 継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	継続。ただし、平成32年度までに施設の	読。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討								
19	機能の評価(案)の 理由	本施設は、年間約56万人が来場するかし施設は店舗が築後50年を超える	観光施設であり、県内タなど、老朽化も進んでい	外問わず多くの観光客だ いることから施設のありフ	が訪れている。し 5を検討する。						
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組(案) ※18 が「廃止」以外のとき	指定管理料がO円であるため、市負担	額を削減することは難し	しい。							
21	※「総量の最適化」、 「質の向上」、「投資 の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が 行政の役割として継続して保有する施 約、民間への売却・譲渡に取り組み、が 地域が主体となって自立経営が見込ま 財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 も設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、ホ ⁻ る。	機能の統合・集						
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし									
24	アンケート(施設利用者)	意見なし									

		(2).施設記 施設評価(H29)			平成29年度						
스	帳番号	/ 他設計画 (P29)	利用用途別分類	保養観光施設	十八29十尺						
		宮崎市道の駅フェニックス		広域・市域							
	設名 総合評価(総括)	建物の評価、機能の評価ともに「継続本施設は年間来場者も多く、本市を代超え、建物全体の老朽化も著しい。その	表する観光施設の一つ	でに施設のあり方を検討 であるが、店舗の建築4							
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分 (廃止、売却・譲渡、 貸付)から選択		売。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討								
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は、平均点未満である備をはじめ、建物全体の老朽化が著し		₹50年を超え、屋上防水	•外壁•排水設						
29	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組 ※28が「処 分」以外のとき	将来の修繕更新費用を削減するために	こ計画的な保全に取り組	組む。							
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	継続。ただし、平成32年度までに施設の	のあり方を検討								
31	機能の評価の理由	本施設は、年間約56万人が来場するかし施設は店舗が築後50年を超えるな									
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組 ※31が 「廃止」以外のとき	指定管理料がO円であるため、市負担	額を削減することは難し	しい。							
33		新たな施設は建設せず、周辺の民間が 行政の役割として継続して保有する施 約、民間への売却・譲渡に取り組み、が 地域が主体となって自立経営が見込ま 財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 も設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、機 「る。	機能の統合・集						

施設カルテ (1)施設基本情報シ

1.台	 帳番号	520		<u> </u>	/他設基/			<u>~</u> 用途別分類	保養観光	 施設			
2.施	 設名	宮崎市津	倉市民農園	園管理棟		4.利	用		広域·市均	### ##################################			
5.所	在地(町名・番地)	佐土原町	東上那珂1	1780-1		15.計	2置	 显根拠法令					
6./ヾ	 ス停	那珂小前	(1830m)			16.計	2置	 建条例	宮崎市市月	R農園条例			
7.開	設年月日	平成22年	4月17日			17.7)計画	現状のま	ま当面は存	続する		
8.施言	设運営形態(指定管理者)	指定管理者	針(津倉地区	(自治会)					18				
9.指	定管理期間	平成25年	4月1日~□	平成30年3	月31日	18							
10.月	月途地域	その他				外				12/2/21			
11.則	才産区分	公共用				観				Carallana Aparis			
(設t	函設概要 置の経緯や背景、施 特徴や必要性など)	きる農園を 00円)で貸 民同士の3 た。(全区回	星を受け、野 区画単位(: に出し、農 ξ流などの射 画数184の : 平成29年	1区画約15 業への理解 進進を目的I 内、利用区	が が は が は は は は は は は は は は は は は は は は	19 内 部			Louiseau	P			
13.主	Eな利用者	20歳以上	で、市内在位	主又は在勤	の方	20.退	避難	住所の指定(標高)	_		16.00	m	
14.禾	川用者駐車可能台数	66台				21.扎	殳 票	所の指定		無	ŧ		
22.	土地面積			9,829.00	m [*]		総	延床面積			66.97	m [*]	
土地	現況地目	宅地					取往	导価額計(開始時簿価計)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
情報	土地所有形態	所有					階	数・構造(主たる建物)	地上1階・	W∙木造			
¥区	借受面積			0.00	m²	24. 建	建	築年(主たる建物)	2010年				
	(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	F度決算		法	定点検(主たる建物)	未対象				
23. 利		人·食	前年比%	人·食	前年比%	報	建	物所有状況	市有物件				
	利用者数	_	_	_	-		借	受面積	0.00 m²				
報	開館日数	_	_	_	-		耐	震対応(主たる建物)	対応済				
	利用量率	_	-	_	-		未	利用スペース			18		
	(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	F度決算 			(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	丰度決算	
	+ 0 40 1 = 1 3	千円	前年度比%	千円	前年度比%		+,	n+11=1@	千円	前年度比%	千円	前年度比%	
	市の収入計① (②+③)	752	95.8	785	_			の支出計⑧ (定管理料除く)	750	100.0	750	_	
	使用料(減免後)②	748	95.9	780	-			施設のコスト	0	-	0	_	
	その他③	4	80.0	5	-			事業のコスト	0	-	0	_	
25. 収	≪参考≫ 使用料減免額④	0	-	0	-	26. 支		人に係るコスト	750	100.0	750	-	
入	指定管理者の収入計⑤	1,292	99.9	1,293	-	田	指:	定管理者の支出計⑨	1,090	94.8	1,150	-	
	指定管理料⑥	1,192	100.0	1,192	-			施設のコスト	211	95.5	221	-	
	利用料金収入	0	_	0	-			自主事業以外のコスト	298	120.2	248	-	
	自主事業収入	15	51.7	29	-			自主事業のコスト	0	_	0	-	
	その他収入	85	118.1	72	_			人に係るコスト	581	85.3	681	-	
	収入合計⑦	2,044	98.4	2,078	-		支	出合計⑩	1,840	96.8	1,900	-	
(4)÷	用料減免割合(%) ·(②+④))	0	-	0	-			≨請負費·修繕費	0	_	0	-	
収入	設経営における実質的な	852	96.2	886	-	市	(8	負担額①)-①+⑥)	1,190	102.9	1,157	-	
30.指 (⑤-	定管理者の収支差引 -⑨)	202	141.3	143	_			負担割合(%))÷⑩)	65	106.2	61	_	
32.旅	拖設所管課	佐土原・患	農林建設課			33.施設主管課			佐土原·農林建設課				

.台	帳	番号 520	3.利	用用途別分類	保養観光施	設			
.施	設名	宮崎市津倉市民農園管理棟	4.利	用圏域別分類	広域·市域				
		5.基础	楚評個	Б					
	評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満 品質評価の評価(偏差値)						C 58.5	
		供給評価・財務評価の評価(偏差値)			1			42.3	
				評価指標	平成28年	度	偏差値	平均	
	(1)		指	築年数(棟平均)	6.000		66.7	25.800	
	①品質評		標	劣化度点数(棟平均)	0.000		59.5	1.900	_
	質証		の 結	耐震対応(棟平均)	5.000		54.9	4.700	
	価		果	クレーム点数	5.000		55.3	4.500	
				バリアフリー未対応(棟平均)	0.000	件	56.3	0.900	件
				評価値	— B	_	58.5		
				評価指標	平成28年月		偏差値	平均	
				日あたり利用者数		人			人
	②供給!	市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	の	建物1㎡当たりの利用量率建物1㎡当たりの利用量率		人台			人台
	評価		結果	土地1㎡当たりの利用量率		人			人
			214	市負担額千円当たりの利用量	0.000	^	42.9	49.116	
				評価値	0.000		42.9	49.110	
				評価指標	平成28年月	由	42.9 偏差値	平均	
				市負担割合	64.670		34.6	28.430	%
	3		指標	市負担額(ソフト)前年度比	102.900		50.4	105.033	%
	財務	建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。		建物1㎡当たりの市負担額			40.2	10.726	千円
	評		結	土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
	価		果	利用量当たりの市負担額		千円			千円
				評価値			41.7		
	品質評価の分布図品	第年数(棟平均) 75.0 50.0 がリアフリー未対 応(棟平均) 0.0 グレーム点数 対別で(棟平均)	供給評価・財務評価の分布図	担額 土地1㎡当たりの市 負担額 建物1㎡当たりの市 負担額 市負担額(ソフト) 年度比		市負担	建物1n		l
	質評価(76	供給評価		65	*	•		
	横)/供給・財務評価(縦	25 30 25 40 45 50 50 65 70 40 45 50 50 65 70	(横)/財務評価(縦)	25 30 35 40	40 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	55	60 6	s † 70	

(2)施設評価ソート 施設評価(H29) 平成29年度									
台[帳番号	520	利用用途別分類	保養観光施設	0十尺				
	设名	宮崎市津倉市民農園管理棟	利用圏域別分類	広域·市域					
1	基礎評価の分析(総 括)	品質評価は問題ないが、供給・財務							
2	品質評価分析 ※平 均点未満の評価指標、平均点未満の原 因等	なし							
3	供給評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	【評価指数】市負担額千円当たりの利 るため。	问用量 【原因】利用者 <i>加</i>	が契約者のみに固定されている施	設であ				
4	財務評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	①【評価指数】市負担割合 【原因】4 ②【評価指数】建物1㎡当たり市負担 ため。							
5	定性的な要素の分析 (総括)	市民農園は、市民の農業への理解を 営されている。市内の類似施設は少	・深めるとともに、交流ヤなく、農業を体験し理解	ら余暇活用等の場として、全国各均 するための重要な施設である。	也で運				
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名	なし							
7	利用圏域内にある市 の類似(利用用途別 分類が同じ)施設の 有無。有の場合は施 設名	宮崎市石崎の杜歓鯨館、宮崎市田野すらぎの郷、椿山森林公園、宮崎市ビーチセンター、宮崎市道の駅フェニ崎市道の駅高岡、交流プラザきよた	自然休養村センター、宮 -ックス、フローランテ宮!	『崎白浜オートキャンプ場、宮崎市	青島				
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	現在、市内ではJAが2箇所(本郷南 る。	方、跡江)、NPO法人か	、3箇所(跡江)、市民農園を運営し	してい				
9	防災対策施設として の位置づけの有無。 有の場合は内容	なし							
10	交通事情(幹線道路 および公共交通機 関)の状況	久峰総合公園から西へ約2km(車で	3分)、幹線市道である	佐土原駅那珂線沿いに立地。					
11	施設の所在地付近に おける現在人口およ び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年 【将来の人口】355,433人(平成52年							
12	将来の修繕更新に係 る見込み(建て替え の時期・事業費(概 算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】0.3億円	程度						
13	その他総合評価に勘 案すべき事項(包括 外部監査の結果・対 応、他自治体との比 較など)	なし							

	(2)施設評価シート										
<i>(</i> .	F = 0	施設評価(H29			平成29年度						
	帳番号	520	利用用途別分類	保養観光施設							
施	没名	宮崎市津倉市民農園管理棟	利用圏域別分類	広域·市域							
14	総合評価(案)(総 括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評物は長寿命化を図ることで、修繕更新担額を削減するため利用率90%以上を率80%を目指す。	費の抑制を図る。「質の	向上」の取り組みとして	、機能は市負						
15	建物の評価(案) ※ 継続、改修・更新、処 分(廃止、売却・譲 渡、貸付)から選択	継続									
16	建物の評価(案)の 理由	供給・財務の評価は平均未満だが、管 あり、品質の評価は高いため現状のま	理棟は築8年で比較的 ま当面は継続する。	新しいことから、建物の	改修は不要で						
17	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組(案) ※15が 「処分」以外のとき	比較的新しい施設であることから、小規 ことで、当面の修繕更新費を抑制する	見模な修繕は直ちに管理。 。	里者で対応してもらい、	長寿命化を図る						
18	機能の評価(案) ※ 継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	改善									
19	機能の評価(案)の 理由	品質の評価は高いが、供給・財務の評として現在約60%の利用率を2021年	価は平均点未満であり Fまでに80%を目指す。	り、市負担額を削減するだ ことにより、供給・財務 <i>の</i>	ため、数量目標)改善を図る。						
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組(案) ※18 が「廃止」以外のとき	数値目標として、現在約60%の利用率 て、広報活動の強化等により新規利用 続利用をサポートする。 具体的取組として、広報誌等の掲載回 の機会を増やす。	者を増やしながら、管理	里者の栽培指導等により	り現利用者の継						
21	※「総量の最適化」、 「質の向上」、「投資 の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が 行政の役割として継続して保有する施約、民間への売却・譲渡に取り組み、が 地域が主体となって自立経営が見込ま 財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 を設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、ホ ^ー る。	機能の統合・集						
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし									
24	アンケート(施設利用者)	意見なし									

		(2)施設。 施設評価(H29)				平成29年度
台「	帳番号	520	利用用途別分類	頁	保養観光施設	
施	設名	宮崎市津倉市民農園管理棟	利用圏域別分類	頁	広域·市域	
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「 命化を図ることで、修繕更新費の抑制・ 減するため利用率90%以上を目標とし 目指す。	を図る。「質の向上	:」の取	スり組みとして、機能はī	†負担額を削
	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分 (廃止、売却・譲渡、 貸付)から選択					
28	建物の評価の理由	供給・財務の評価は平均未満だが、管 あり、品質の評価は高いため現状のま			新しいことから、建物の	改修は不要で
29	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組 ※28が「処 分」以外のとき	比較的新しい施設であることから、小規 ことで、当面の修繕更新費を抑制する。		に管理		長寿命化を図る
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	改善				
31	機能の評価の理由	品質の評価は高いが、供給・財務の評 として現在約60%の利用率を2021年				
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組 ※31が 「廃止」以外のとき	数値目標として、現在約60%の利用率 て、広報活動の強化等により新規利用 続利用をサポートする。 具体的取組として、広報誌等の掲載回 の機会を増やす。	者を増やしながら	、管理	者の栽培指導等により	現利用者の継
33	の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が 行政の役割として継続して保有する施 約、民間への売却・譲渡に取り組み、が 地域が主体となって自立経営が見込ま 財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証し 施設の数・面積を削	た上で 削減す	で、施設の長寿命化、機 る。	能の統合・集

施設カルテ (1)施設基本情報シート

1.台	帳	番号	3330		(1)施設基2			<u>ノー・</u> 用途別分類	保養観光	 施設		
2.施	設	2名	空崎市道の駅田野総合案内施設 4.利用圏域別分類 広域・市域										
5.所	在	地(町名・番地)	田野町甲	7885番地1	64		15.	设置					
6./ヾ	ス	 .停					16.	设置		宮崎市道の)駅田野総合	一 合案内施設	条例
7.開	設	大年月日 1	平成9年4	 月1日			17.ī	市の)計画	現状のま	ま当面は存	 続する	
8.施言	没i	運営形態(指定管理者)	指定管理者	首(有限会社	田中漬物	勿)							
9.指	定		平成29年4月1日~平成31年3月31日										
10.月	月 記	金地域	その他				18 外						
11.則	٦į.		公共用				観	Į					
12.施設概要(設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)			県県もは 南道に、利の 高売町と は は い が い るこ い の で に い 利 の で い 利 の で い 利 の で い の で い の の で い の の で い の の の の の の	高岡線の道路 地域の特産 音の休憩場所 とを備えた「治 た。道の駅	格情報を提品を販売す 所および特 道の駅」とし の登録は、	供するとと ⁻ るため、 産品の販 ,て旧田野 隣接するJ	19 内 部	ı	O B 好 O S 清 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				6
13.主	Èζ	な利用者	観光客				20.	<u>辟</u> 葉	推所の指定(標高)	_		330.20	m
14.禾	IJ	用者駐車可能台数	23台				21.‡	没弄	真所の指定		無	ŧ	
22.	±	-地面積			3,358.14	m [*]		総	延床面積			323.00	m ²
	琈	見況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)		69274千円 (一			(-)	
情	±	_地所有形態	所有					階	数・構造(主たる建物)	地上1階・	W·木造		
報	佳	昔受面積			0.00	m [*]	24. 建	建	築年(主たる建物)	1996年			
	(区公,举件)	平成28年	F度決算	平成27年	丰度決算	物	法	定点検(主たる建物)	対象			
23. 利		(区分・単位)	人·食	前年比%	人·食	前年比%	情報	建	物所有状況	市有物件			
用	禾	川用者数	35,599	90.2	39,472	-		借	受面積	0.00 m²			m [‡]
情 報	開	開館日数	362	99.7	363	-		耐	震対応(主たる建物)	対応済			
	禾	川用量率	98	89.9	109	ı		未	利用スペース	0 m²			m³
		(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	F度決算		(EA 24)		平成28年	F度決算	平成27年	F度決算
		(区力・単位)	千円	前年度比%	千円	前年度比%			(区分•単位)	千円	前年度比%	千円	前年度比%
		iの収入計① ②+③)	0	_	0	-			の支出計® 能定管理料除く)	750	100.0	750	-
		使用料(減免後)②	0	-	0	-			施設のコスト	0	-	0	-
		その他③	0	_	0	-			事業のコスト	0	_	0	_
25.		≪参考≫ 使用料減免額④	0	-	0	-	26.		人に係るコスト	750	100.0	750	_
収入	指	定管理者の収入計⑤	6,954	100.0	6,956	_	支出	指	定管理者の支出計9	6,942	99.9	6,949	_
		指定管理料⑥	2,058	100.0	2,058	_			施設のコスト	1,113	89.5	1,243	_
		利用料金収入	4,198	95.2	4,410	-			自主事業以外のコスト	682	73.8	924	_
		自主事業収入	698	143.0	488	-			自主事業のコスト	361	168.7	214	_
		その他収入	0	-	0	-			人に係るコスト	4,786	104.8	4,568	_
	収	又入合計⑦	6,954	100.0	6,956	-		支	出合計⑩	7,692	99.9	7,699	_
		料減免割合(%) ②+④))	-	-	-	-	28.	工事	事請負費·修繕費	0	-	0	-
29.施	設	経営における実質的な ()-⑥)	4,896	100.0	4,898	-			負担額⑪ ()-①+⑥)	2,808	100.0	2,808	_
30.指定管理者の収支差引 (⑤一⑨) 12 171.4 7 - 損担割合(%) 担 (⑪÷⑩)				37	100.1	36	_						
		設所管課	田野・農林	建設課		-			文章 (1) 设主管課	田野・農林	林建設課		

1.台	帳都	香号 3330	3.利]用用途別分類	保養観光施	設				
2.施	設名	宮崎市道の駅田野総合案内施設	4.利]用圏域別分類	広域·市域					
		5.基礎	芒評 位	5						
	評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 C B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満 C C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満 品質評価の評価(偏差値) 51.7 供給評価・財務評価の評価(偏差値) 46.7								
		供給評価・財務評価の評価(偏差値)	1	1				46./		
		クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	標	評価指標 築年数(棟平均) 劣化度点数(棟平均) 耐震対応(棟平均) クレーム点数 パリアフリー未対応(棟平均) 評価値	平成28年 19.800 1.000 5.000 4.000 1.000	年件点点	偏差値 55.1 54.5 54.9 44.7 49.3 51.7	平均 25.800 1.900 4.700 4.500 0.900	年件点点	
				評価指標	平成28年	度	偏差値	平均		
	②供給評価	利用量率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	日あたり利用者数 建物1㎡当たりの利用量率 建物1㎡当たりの利用量率 土地1㎡当たりの利用量率 市負担額千円当たりの利用量 評価値			40.1 42.9 44.7 42.6	482.000 0.687 49.116	人台人	
				評価指標	平成28年	度	偏差値	平均		
	③財務評価	市負担割合の評価が低い。	の結果	市負担割合 市負担額(ソフト)前年度比 建物1㎡当たりの市負担額 土地1㎡当たりの市負担額 利用量当たりの市負担額 評価値		% 千円 千円	46.6 50.9 52.8 52.9 50.8	28.430 105.033 10.726 0.149	% 千円 千円 千円	
	品質評価の分布図	禁年数(棟平均) 75.0 50.0 50.0 3化度点数(棟平 坊) (棟平均) クレーム点数	供給評価・財務評価の分布図	担額 土地1㎡当たりの市 負担額 建物1㎡当たりの市 負担額 市負担額(ソフト)下 年度比		市負担	建物1r			
	品質評価(横)/供給・財務評価(縦)	25 30 35 40 45 50 60 155 70 40 40 40 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	供給評価(横)/財務評価(縦)	25 30 35 40	75 70 60 60 60 60 40 60 40 40 40 40 40	55		5 70		

	(2)施設評価ンート 施設評価(H29) 平成29年度									
台口	帳番号	3330	利用用途別分類	保養観光施設						
	设名 設名	宮崎市道の駅田野総合案内施設	利用圏域別分類	広域・市域						
1		品質評価は、クレーム点数の評価が但	いことから、平均点未							
2	品質評価分析 ※平 均点未満の評価指標、平均点未満の原 因等		視覚障害者のための	誘導用床材等が、出入口付近や階段に						
3	供給評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	①【評価指標】1日当たりの利用者数【 ②【評価指標】建物1㎡当たりの利用量 ③【評価指標】市負担金額千円当たりの	量率【原因】入込み客か	が少ないため。						
4	財務評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	【評価指標】市負担額割合【原因】指定 (飲食店を除く、販売店のみ)としたため		ているため(水道光熱費を指定管理施設						
5	定性的な要素の分析 (総括)	市内に道の駅が3施設点在している。	また、民間にも、同じれ	刊用用途の施設がある。						
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名									
7	利用圏域内にある市 の類似(利用用途別 分類が同じ)施設の 有無。有の場合は施 設名	ぎの郷、椿山キャンプ場、椿山森林公見 宮崎市青島ビーチャンター 宮崎市	園、宮崎市自然休養村 市道の駅フェニックス、	フローランテ宮崎、宮崎市フェニックス						
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名		して、【県】みやざき物	産館、【民間】百彩						
9	防災対策施設として の位置づけの有無。 有の場合は内容									
10	交通事情(幹線道路 および公共交通機 関)の状況	田野ICから主要地方道日南高岡線をしり、その橋を渡りきったところに、道の馬		「くと、日本最大級のV脚をもつ蒼雲橋あ がある。						
11	施設の所在地付近に おける現在人口およ び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10 【将来の人口】355,433人(平成52年10								
12	将来の修繕更新に係 る見込み(建て替え の時期・事業費(概 算))	【建て替えの時期】平成2040年代 【建て替えの事業費(概算)】1.2億円程	·····································							
13	その他総合評価に勘 案すべき事項(包括 外部監査の結果・対 応、他自治体との比 較など)	 包括外部監査では、特に指摘はない。								

	(2)施設評価シート										
Ļ		施設評価(H29)		1 - 34 to 1	平成29年度						
	帳番号	3330	利用用途別分類	保養観光施設							
施	设名	宮崎市道の駅田野総合案内施設	利用圏域別分類	広域·市域							
14	総合評価(案)(総 括)	建物の評価(案)は継続、機能の評価(は、将来の修繕更新費用を削減するたて、売り場の改善はもとより、更なる集む。	とめに、計画的な保全に	こ取り組む。「質の向上」	の取り組みとし						
15	建物の評価(案) ※ 継続、改修・更新、処 分(廃止、売却・譲 渡、貸付)から選択	継続									
16	建物の評価(案)の 理由	大規模修繕等もなく、当面は「継続」と「	する。								
	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組(案) ※15が 「処分」以外のとき	定期的な点検、整備を行い、予防保全	に取り組み、修繕更新	費用を削減する。							
18	機能の評価(案) ※ 継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	改善									
19	機能の評価(案)の 理由	平成26年度から利用料金制を導入し増加に向けた取り組みを展開していく。 平成30年度に指定管理者の募集となる。)								
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組(案) ※18 が「廃止」以外のとき	市負担額を削減するため、平成26年原要な売上や来場者の増加を図るため、 と連携した新商品開発などに取り組む	売店の商品構成の見								
21	※「総量の最適化」、 「質の向上」、「投資 の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が 行政の役割として継続して保有する施 約、民間への売却・譲渡に取り組み、が 地域が主体となって自立経営が見込ま 財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 も設の数・面積を削減す	こで、施設の長寿命化、セ する。	幾能の統合・集						
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし									
24	アンケート(施設利用者)	意見なし									

	(2)施設評価ソート 施設評価(H29) 平成29年度 単平成29年度 ・ ・										
1.	作 立 口			/D 美知业+5=10	十八29年度						
	帳番号 	3330	利用用途別分類	保養観光施設							
施	設名	宮崎市道の駅田野総合案内施設	利用圏域別分類	広域・市域							
26	総合評価(総括)	建物の評価は継続、機能の評価は「改の修繕更新費用を削減するために、計場の改善はもとより、更なる集客イベン	一画的な保全に取り組む	、「質の向上」の取り組ん	みとして、売り						
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分 (廃止、売却・譲渡、 貸付)から選択	継続									
28	建物の評価の理由	大規模修繕等もなく、当面は「継続」と「	する。								
29	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組 ※28が「処 分」以外のとき	定期的な点検、整備を行い、予防保全	に取り組み、修繕更新	費用を削減する。							
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	改善									
31	機能の評価の理由	平成26年度から利用料金制を導入し増加に向けた取り組みを展開していく。 平成30年度に指定管理者の募集となる。)								
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組 ※31が 「廃止」以外のとき	市負担額を削減するため、平成26年原要な売上や来場者の増加を図るため、 と連携した新商品開発などに取り組む	売店の商品構成の見画								
33		新たな施設は建設せず、周辺の民間が行政の役割として継続して保有する施約、民間への売却・譲渡に取り組み、が地域が主体となって自立経営が見込ま財産貸付に変更するなど)を進める。また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 も設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、機 ⁻ る。	機能の統合・集						

施設カルテ (1)施設基本情報シ

1.台	帳	番号	90440		<u> </u>	/他敌基/			 用途別分類	保養観光	 施設		
2.施設名			城の駅							広域·市場			
5.所	在	进(町名・番地)	佐土原町.	上田島138	 7番1		15.	 I5.設置根拠法令		宮崎市城の駅条例			
6./ヾ	ス		交流センタ	——	n)				量条例	宮崎市城の	 D駅条例		
7.開	設	年月日								現状のま	 ま当面は有	 続する	
8.施言	没i	運営形態(指定管理者)	指定管理者 (NPO法人ドンと佐土原まちおこし隊)										and a
9.指	定	管理期間	平成27年2月1日~平成30年3月31日										
10.月	Ħi	金地域	第二種低層住居専用地域									E E	
11.其	ţ,	産区分	公共用				観	,	A STATE OF THE STA				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施 設の特徴や必要性など)			民の交流を	下の史跡やる た促すととも して活力あ 目的とする	こ、地域の	特産品等	19 内 部						
13.主	Èζ	は利用者	一般				20.⅓	<u>辞</u> 美	推所の指定(標高)	_		0.00	m
14.禾	ij	用者駐車可能台数	39台				21.‡	殳勇	真所の指定		無	ŧ	
22.	±	_地面積			0.00	m ^²		総	延床面積			280.06	m²
土地	玗	見況地目					取得価額計(開始時簿価計)		6	7327千円		(-)	
情	±	地所有形態	所有					階	数・構造(主たる建物)	地上1階・	W·木造		
報	佳	昔受面積			0.00	m [*]	24. 建	建	築年(主たる建物)	2014年			
	(区八. 甾体)	平成28年	F度決算	平成27年	F度決算	物	法	定点検(主たる建物)	未対象			
23. 利		(区分•単位)	人·食	前年比%	人·食	前年比%	情報	建	物所有状況	市有物件			
用情	禾	川用者数	73,557	89.9	81,854	-		借	受面積			0.00	m ^²
報	開	開館日数	363	100.0	363	-		耐	震対応(主たる建物)	対応済			
	禾	用量率	203	90.2	225	-		未	利用スペース			0	m [*]
		(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	F度決算		(区分・単位)	平成28年	F度決算	平成27年	丰度決算	
			千円	前年度比%	千円	前年度比%				千円	前年度比%	千円	前年度比%
		で収入計① ②+③)	0	_	0	-			の支出計⑧ 旨定管理料除く)	4,545	75.2	6,040	_
		使用料(減免後)②	0	_	0	-			施設のコスト	45	2.9	1,540	_
		その他③	0	_	0	_			事業のコスト	0	_	0	_
25. 収		≪参考≫ 使用料減免額④	0	_	0	_	26. 支		人に係るコスト	4,500	100.0	4,500	_
入	指	定管理者の収入計⑤	13,586	83.0	16,367	_	出出	指	定管理者の支出計⑨	12,107	76.7	15,791	-
		指定管理料⑥	3,274	100.0	3,274				施設のコスト	3,467	110.2	3,146	
		利用料金収入	4,619	87.5	5,280	_			自主事業以外のコスト	1,168	52.1	2,240	_
		自主事業収入	2,157	79.9	2,699	_			自主事業のコスト	0	_	0	_
		その他収入	3,536	69.1	5,114	_			人に係るコスト	7,472	71.8	10,405	_
	収	7入合計⑦	13,586	83.0	16,367	_		支	出合計⑩	16,652	76.3	21,831	-
		料減免割合(%) ②+④))	-	_	-	_			耳請負費·修繕費	0	0.0	1,529	_
29.施	設	経営における実質的な	10,312	78.8	13,093	-			負担額⑪ ()-①+⑥)	7,819	83.9	9,314	-
30.指	30.指定管理者の収支差引 (⑤一⑨)		1,479	256.8	576	_	負	市	負担割合(%) ()÷⑩)	47	110.1	43	_
		设所管課	佐土原•地	也域市民福	祉課				设主管課	佐土原•坩	也域市民福	祉課	

1.台	帳都	6号 90440	3.利用用途別分類 保養観光施設							
2.旅	設名	城の駅								
		5.基础	芒評 征	5						
	評価指	A:品質:平均点以上、供給·財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給·財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給·財務:平均点未満 D:品質:平均点未満、供給·財務:平均点未満		С						
	標		540							
		品質評価の評価(偏差値)					54.0			
		供給評価・財務評価の評価(偏差値)					44.3			
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均			
	1		指	築年数(棟平均)	2.000 年	70.0	25.800	-		
	品質	クレーム点数の評価がかなり低い。	1234	劣化度点数(棟平均)	1.000 件	54.5	1.900			
	評		の結	耐震対応(棟平均) クレーム点数	5.000 点 3.000 点	54.9 34.2	4.700 4.500	点点		
	価		果	バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900	件		
				評価値	0.000	54.0	0.000	- 1 1		
				評価指標	 平成28年度	偏差値	平均			
				日あたり利用者数	203.000 人	42.8	482.000	人		
	2		指	100/2747/1112	200.000 70	12.0	102.000			
	供	利用量率の評価が低い。	標		0.724 人	50.7	0.687	人		
	給評	市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	の結	建物1㎡当たりの利用量率	台	00.7	0.007	台		
	価		果	土地1㎡当たりの利用量率				人		
				市負担額千円当たりの利用量	9.407	44.2	49.116			
				 評価値		45.9				
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均			
	3		指	市負担割合	46.960 %	42.1	28.430	%		
	財	市負担割合の評価が低い。	標	市負担額(ソフト)前年度比	100.400 %	50.9	105.033	%		
	務評	建物1㎡当たり市負担額の評価がきわめて低い。	の結	建物1㎡当たりの市負担額	27.919 千円	26.1	10.726	千円		
	価			土地1㎡当たりの市負担額	千円	F1.0	0.140	千円		
				利用量当たりの市負担額 評価値	0.106 千円	51.8 42.7	0.149	十円		
	品質評価の分布図品	築年数(棟平均) 75.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0	供給評価・財務評価の分布図	利用量当たりの 担額 土地1㎡当たりの市 負担額 建物1㎡当たりの市 負担額 市負担額(ソフト) 同 年度比	市負担	建物1㎡ 用				
	質評価(横)/供給・財務評価(縦)	55 50 35 40 46 50 0 34 60 66 70 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40	供給評価(横)/財務評価(縦)	25 30 35 40	70 65 60 40 55 40 55 40 55 55 40 55 55	♦	or 70 ♠			

	(2)施設評価シート 施設評価(H29)									
台「	帳番号	90440	利用用途別分類	保養観光施設	一汉					
	设名	城の駅	利用圏域別分類	広域·市域						
1		佐土原城下の史跡やまちなみを活用し 地域づくりへの寄与を目的に平成27年 成27年2月の新規開館以降、暫くの間 割合が上昇し供給・財務の評価値が下	2月開館。目的達成に 間は他の同分類施設以	は地域との連携が重要なことから、上の行政支援が必要。この分、市	、平					
2	品質評価分析 ※平 均点未満の評価指標、平均点未満の原 因等	【評価指標】クレーム点数 【原因】空調の不具合が開館年の夏に	発生、改善への要望が	「毎月寄せられている。						
3	供給評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	①【評価指標】日あたり利用者数【原因合おいては、利用者数は少なくなる。 ②【評価指標】市負担額千円当たりのきと、まちづくりの観点から行政支援(助る。	利用量【原因】収支額が	が他の保養観光施設と比較して低し	ハこ					
4	財務評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	①【評価指標】市負担割合【原因】まちら市負担の割合が高くなっている。 ②【評価指標】建物1㎡当たりの市負担施設と比較して小さいため。								
5	定性的な要素の分析 (総括)	佐土原町域の中心市街地や主要幹線 ど、施設整備計画の段階から他施設と この為、「まちづくりを通じての管理者と ではの魅力を施設に持たせる必要があ ら実施しており、この分市負担割合が	上比較して利用者数・売 と地元住民との連携」を あり、上述の観点からの	上げが少なくなる要素がある。 充実させ、他施設とは異なる地域	なら					
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名	【施設の有無】有り ・佐土原地区交流センター ・佐土原歴 ・佐土原西体育館(佐土原出張所)	೬史資料館(鶴松館) ·	佐土原小学校 ·佐土原中学校						
7	利用圏域内にある市 の類似(利用用途別 分類が同じ)施設の 有無。有の場合は施 設名	宮崎市フェニックス自然動物園、宮崎市 野町物産センター、宮崎市道の駅田野崎市自然休養村センター、宮崎白浜オフェニックス、宮崎市道の駅高岡、交流	が総合案内施設、高岡 一トキャンプ場、宮崎	🖶泉やすらぎの郷、椿山森林公園、 市青島ビーチセンター、宮崎市道 σ	、宮					
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名									
9	防災対策施設として の位置づけの有無。 有の場合は内容									
10	交通事情(幹線道路 および公共交通機 関)の状況	西都ICから南東へ4キロほど行った旧跡内、佐土原歴史資料館(鶴松館)がにバス停留所も設けられており、地元代れており、地元住民以外の交通事情は	道路を挟んで向かい、 住民の交通事情として	佐土原地区交流センターに隣接し、	、近く					
11	施設の所在地付近に おける現在人口およ び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10 【将来の人口】355,433人(平成52年10								
12	将来の修繕更新に係 る見込み(建て替え の時期・事業費(概 算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】1.3億円程								
13	その他総合評価に勘 案すべき事項(包括 外部監査の結果・対 応、他自治体との比 較など)	包括外部監査での指摘なし。								

(2)施設評価シート										
			1 = 1/1 = 1	平成29年度						
	90440	利用用途別分類	保養観光施設							
設名	城の駅									
総合評価(案)(総括)	削減するための具体的な保全計画の第 の取り組みとして指定管理者へ実施し	策定を開始する。機能 <i>の</i> ている、まちづくりの観	D評価(案)は「改善」とし 点からの助言・指導に達	、「質の向上」 成度、平成32						
	継続									
建物の評価(案)の 理由	平成27年2月開館の施設で基礎評価の)品質は平均点以上で	あるため。							
将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組(案) ※15が 「処分」以外のとき	行う。 【施設(館内設備や配置備品)について や、リスク管理表で管理者側での対応	【】長期間使用できるよるとなる軽微な修繕の場	う、丁寧な取扱いを依頼	し、使用の変更						
機能の評価(案) ※ 継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	改善									
機能の評価(案)の 理由	受け入れられつつあること、収支のバーからの助言・指導)を順次減少させ、次	ランスに留意した経営かた名間の指定管理期間(「実施されていること、市	う 負担額(行政						
将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組(案) ※18 が「廃止」以外のとき	(H27.2~H30.3.31)の3年2ヶ月間と次回	☑ (H30.4.1~H33.3.31) (の3年間までとし、その頻							
※「総量の最適化」、 「質の向上」、「投資 の厳選」を踏まえた	行政の役割として継続して保有する施 約、民間への売却・譲渡に取り組み、別 地域が主体となって自立経営が見込ま	設か十分に検証した上 も設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、機 ⁻ る。	機能の統合・集						
アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし									
アンケート(施設利用者)	意見あり(別紙 15ページ参照)									
	括 建継分渡 建理 将用な処 機継約か 機理 将用な処 にいから (() () () () () () () () () () () () ()	腰番号 90440 設名 城の駅 建物の評価(案)(総合評価(案)(総合評価(案)(素質)(素質)(素質)(表質)(表質)(表質)(表質)(表質)(表質)(表質)(表質)(表質)(表	腰番号 90440 利用用途別分類 対の駅 利用用途別分類 建物の評価(案)(総 が	腰番号 90440 利用用適域別分類 広域・市域 建物の評価(案) / 総合評価(案) / 総合評価(案) / 総括 / 中域 / 中						

		(2)施設。 施設評価(H29)			平成29年度
台「	帳番号	90440	利用用途別分類	保養観光施設	1 774=3 1 72
	设名	城の駅	利用圏域別分類	広域·市域	
	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、「総量の最近であための具体的な保全計画の策定であるとして指定管理者へ実施している、で終年度とした年度計画を策定し、段階に	・ 適化」の取り組みとして、 を開始する。機能の評値 まちづくりの観点からの!	fiは「改善」とし、「質の向 助言・指導に達成度、平]上」の取り組 成32年度を最
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分 (廃止、売却・譲渡、 貸付)から選択	継続			
28	建物の評価の理由	平成27年2月開館の施設で基礎評価の)品質は平均点以上でる	あるため。	
29	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組 ※28が「処 分」以外のとき	【施設(館本体)について】具体的な館(行う。 【施設(館内設備や配置備品)について や、リスク管理表で管理者側での対応 る。本体への取り組み計画に館内設備	【】長期間使用できるよう となる軽微な修繕の場	5、丁寧な取扱いを依頼	し、使用の変更
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	改善			
31	機能の評価の理由	供給・財務は平均点以下であるが、平受け入れられつつあること、収支のバラからの助言・指導)を順次減少させ、次財務の改善を達成する計画であるため	ランスに留意した経営が 々回の指定管理期間(「実施されていること、市	負担額(行政
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組 ※31が 「廃止」以外のとき	城の駅を「まちづくりの拠点施設」とする (H27.2~H30.3.31)の3年2ヶ月間と次区順次減少させる計画であり、これに伴っ	☐ (H30.4.1~H33.3.31) 0	03年間までとし、その頻	
33	の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が 行政の役割として継続して保有する施 約、民間への売却・譲渡に取り組み、が 地域が主体となって自立経営が見込ま 財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 施設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、機 る。	と

施設カルテ (1)施設基本情報シ

1.台帳番号			3320						<u>ソート</u> 用途別分類	保養観光施設			
2.施	設	名	宮崎市田	野物産セン	/ター		4.利	用		広域·市域			
5.所	在	地(町名・番地)	田野町甲	3157-2			15.設置根拠法令						
6./ヾ	ス	.停	合又(600m)				16.言	设置	量条例	宮崎市田野物産センター条例			
7.開	設	年月日	平成15年2月2日				17.7	ħσ.)計画	現状のま	ま当面は存	続する	
8.施言	没i	運営形態(指定管理者)	指定管理者	首 (有限会社	上 田中漬物	勿)							- 1
9.指	定	管理期間	平成26年	4月1日~□	平成31年3	月31日	18			b			
10.月	Ħi	途地域	近隣商業	地域			外						
11.其	ţį	産区分	公共用				観	!			a de la constante de la consta		
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施 設の特徴や必要性など)			所の設置要の特定品や目的として地域の農産者の 地域の農産者のおいしい農産者の	を無人販売所 要望があり、 お農業加工。 設置した。 を生かし があず見える でするの でする。 がある。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	旧田野町た品などの販農業者の連た加工技行る安全・安心 ・安全・安心	が田野地域 売族により 携により がで が が で が で が で が 後 に 後 に ま が で が が 後 に ま り る が り る り る り る り る り る り る り る り る り	19 内 部	1					
13.主	Èζ	な利用者	観光客、周	辺住民			20.∄	旺 對	鮮所の指定(標高)	_		141.60	m
14.禾	ij	用者駐車可能台数	38台				21.投票所の指定				無	ŧ	
22.	±	-地面積			2,899.68	m [*]	総延床面積					314.45	m ²
土			宅地				取得価額計(開始時簿価計		导価額計(開始時簿価計)	71045千円 (-			
情	±	:地所有形態	所有					階	数・構造(主たる建物)	地上1階・	S•鉄骨		
報	佳	昔受面積			0.00	m ²	24. 建	建	築年(主たる建物)				
		区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	F度決算	物	法	定点検(主たる建物)	対象			
23. 利		区分"羊位/	人·食	前年比%	人·食	前年比%	┩╙╊	建	物所有状況	市有物件			
	禾	川用者数	160,226	93.7	171,014	ı		借	受面積	0.00			m²
報	開	閉館日数	362	99.7	363	-		耐震対応(主たる建物)		対応済			
	禾	川用量率	443	94.1	471	-		未	利用スペース			0 m²	
		(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	丰度決算			(区分•単位)	平成28年	∓度決算	平成27年	丰度決算
			千円	前年度比%	千円	前年度比%				千円	前年度比%	千円	前年度比%
		iの収入計① ②+③)	0	-	0	-			の支出計® 育定管理料除く)	750	100.0	750	_
		使用料(減免後)②	0	-	0	-			施設のコスト	0	-	0	_
		その他③	0	-	0	_			事業のコスト	0	_	0	_
25. 収		≪参考≫ 使用料減免額④	0	-	0	-	26. 支		人に係るコスト	750	100.0	750	-
入	指	旨定管理者の収入計⑤	18,381	96.4	19,061	ı	出	指	定管理者の支出計⑨	19,860	106.3	18,689	_
		指定管理料⑥	0	-	0	-			施設のコスト	2,794	84.9	3,290	-
		利用料金収入	8,240	89.4	9,215	-			自主事業以外のコスト	4,557	127.5	3,575	_
		自主事業収入	7,470	104.1	7,175	-			自主事業のコスト	5,548	91.9	6,034	_
		その他収入	2,671	100.0	2,671	_			人に係るコスト	6,961	120.2	5,790	_
	収	又入合計⑦	18,381	96.4	19,061	_		支	出合計⑩	20,610	106.0	19,439	-
		料減免割合(%) ②+④))	_	_					耳請負費・修繕費	0		0	-
29.施	設	経営における実質的な	18,381	96.4	19,061	-			負担額⑪)一①+⑥)	750	100.0	750	-
30.指	ス(ジー®)) .指定管理者の収支差引 ⑤一⑨)		△ 1,479	△ 397.6	372		負	市	負担割合(%))÷⑩)	4	94.3	4	
		設所管課	田野・農材	林建設課					设主管課	田野·農林	木建設課		

1.台	帳都	等号 3320	3.利	川用途別分類	保養観光旅	設			
2.施	設名	宮崎市田野物産センター	4.利	川用圏域別分類	広域·市域				
		5.基础	色評化	5					
	評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満 品質評価の評価(偏差値) 供給評価・財務評価の評価(偏差値)	上 茜						
				評価指標	平成28年	申	偏差値	平均	
		劣化度点数(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	築年数(棟平均) 劣化度点数(棟平均) 耐震対応(棟平均) クレーム点数 パリアフリー未対応(棟平均) 評価値	13.600 2.500 5.000 4.000 0.500	年件点点	60.3 47.0 54.9 44.7 52.8 51.9	25.800 1.900 4.700 4.500 0.900	年件点点
				評価指標	平成28年	度	偏差値	平均	
	②供給評価	利用量率の評価が低い。	指標の結果	日あたり利用者数 建物1㎡当たりの利用量率 建物1㎡当たりの利用量率 土地1㎡当たりの利用量率 市負担額千円当たりの利用量			49.0 63.4 73.8	482.000 0.687 49.116	人台人
				評価値			62.1		
	③財務評価		ीयर	評価指標 市負担割合 市負担額(ソフト)前年度比 建物1㎡当たりの市負担額 土地1㎡当たりの市負担額 利用量当たりの市負担額 評価値	平成28年 3.640 100.000 2.385 0.005	% % 千円 千円	偏差値 60.6 50.9 61.6 56.1 57.3	平均 28.430 105.033 10.726 0.149	% % 千円 千円
	品質評価の分布図	50.0 パリアフリー未対 応(棟平均) 9.0 り) 0.0		担額 土地1㎡当たりの市 負担額 建物1㎡当たりの市 負担額 市負担額(ソフト)下 年度比		市負担	◆ 建物1r		
	品質評価(横)/供給・財務評価(縦)	75 70 65 65 65 65 65 65 65 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60	供給評価(横)/財務評価(縦)	25 30 35 40	75 70 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60	•		5 70	

		(2)施設記 施設評価(H29)		平成29年度					
台「	帳番号	3320	利用用途別分類	保養観光施設					
	设名	宮崎市田野物産センター	利用圏域別分類	広域·市域					
1	基礎評価の分析(総 括)	近隣の類似施設とすると評価は高い。							
2	品質評価分析 ※平 均点未満の評価指標、平均点未満の原 因等	【評価指標】劣化度点数(棟平均)【原因】外壁にひび割れやさび、剥落、欠けなどが見られる。							
3	供給評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等								
4	財務評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等								
5	定性的な要素の分析 (総括)	なし							
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名	倉庫消防団車庫6棟、旧田野学校給食	ミセンター、田野小学校 1号街区公民館、宮崎	市B&B田野海洋センター、南原4号街					
7	利用圏域内にある市 の類似(利用用途別 分類が同じ)施設の 有無。有の場合は施 設名	鯨館、宮崎市津倉市民農園管理棟、宮	宮崎市道の駅フェニック を流プラザ清武四季の	然休養村センター、宮崎市石崎の杜歓 ス、宮崎市道の駅高岡、宮崎市道の駅 夢、高岡温泉やすらぎの郷、青島海水					
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名								
9	防災対策施設として の位置づけの有無。 有の場合は内容	指定避難所ではない。							
10	交通事情(幹線道路 および公共交通機 関)の状況	施設は、国道269号線沿いにあり、JF 情は良好である。	R田野駅から徒歩20分	ト、バス停留所まで徒歩10分と交通事					
11		宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10 【将来の人口】355,433人(平成52年10							
12	将来の修繕更新に係 る見込み(建て替え の時期・事業費(概 算))	【建て替えの時期】平成2050年代 【建て替えの事業費(概算)】1.3億円程							
13	その他総合評価に勘 案すべき事項(包括 外部監査の結果・対 応、他自治体との比 較など)	 包括外部監査では特に指摘なし。							

	(2)施設評価シート 施設評価(H29) <u>平成29年度</u>												
스	帳番号	3320	利用用途別分類	保養観光施設	十八25千尺								
	设备 	宮崎市田野物産センター	利用圏域別分類	広域•市域									
וטת		建物の評価(案)は継続、機能の評価(として、建物は、								
14	総合評価(案)(総括)	将来の修繕更新費用を削減するためにを図る。											
15	建物の評価(案) ※ 継続、改修・更新、処 分(廃止、売却・譲 渡、貸付)から選択	継続											
16	建物の評価(案)の 理由	当面の間は、大規模な改修も必要ない	ことから、建物は「継続	もとする」									
	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組(案) ※15が 「処分」以外のとき	定期的な点検、整備を行い、予防保全	に取り組み、修繕更新	費用を削減する。									
18	機能の評価(案) ※ 継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	継続											
19	機能の評価(案)の 理由	市負担額を削減するため、平成25年6 した。それにより指定管理者の収益が 導入した。											
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組(案) ※18 が「廃止」以外のとき	指定管理者が自主的な経営努力を発持金制を設定する内容の条例をおこなって、その一部を市に納入する仕組みを	た。それにより指定管理	里者の収益が大きい場 _で	合に納付金とし								
21	※「総量の最適化」、 「質の向上」、「投資 の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が 行政の役割として継続して保有する施 約、民間への売却・譲渡に取り組み、が 地域が主体となって自立経営が見込ま 財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 も設の数・面積を削減す	.で、施設の長寿命化、ホ トる。	機能の統合・集								
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし											
24	アンケート(施設利用 者)	対象外											

	(2)施設評価シート 施設評価(H29) 平成29年度											
台「	帳番号	3320	利用用途別分類	保養観光施設	1 /2/20 1 /2							
	改出 	宮崎市田野物産センター	利用圏域別分類	広域·市域								
	総合評価(総括)	建物の評価は継続、機能の評価は「総繕更新費用を削減するために計画的な	・ 送続」とする。「総量の最	適化」の取組として、建物								
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分 (廃止、売却・譲渡、 貸付)から選択	継続										
28	建物の評価の理由	当面の間は、大規模な改修も必要なし	ヽことから、建物は「継続	ミとする 」								
29	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組 ※28が「処 分」以外のとき	定期的な点検、整備を行い、予防保全	に取り組み、修繕更新	費用を削減する。								
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	継続										
31	機能の評価の理由	市負担額を削減するため、平成25年6 した。それにより指定管理者の収益が 導入した。										
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組 ※31が 「廃止」以外のとき	指定管理者が自主的な経営努力を発 金制を設定する内容の条例をおこなっ て、その一部を市に納入する仕組みを	た。それにより指定管理	里者の収益が大きい場合	合に納付金とし							
経営の方向性 ※ 「総量の最適化」、「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた、利用用途別分類の 経営の方向性 財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。												

施設カルテ (1)施設基本情報シ

1.台	帳番号	3340		· ·).他敌基/			T	保養観光	施設		
2.施	 設名	高岡温泉	やすらぎの)郷		4.利	用		広域·市均	 或		
5.所	在地(町名・番地)	高岡町小	山田1953			15.言	2置	根拠法令				
6./ヾ	ス停	高岡温泉	やすらぎの)郷(150m))	16.言	2置	全 条例	宮崎市高岡温泉やすらぎの郷条例			
7.開	設年月日	平成10年	11月3日			17.市の計画			現状のまま当面は存続する			
8.施言	設運営形態(指定管理者)) 指定管理者 (宮交ショップアンドレストラン株式会社)										
9.指	定管理期間	平成29年4月1日~平成34年3月31日				10						
10.月	用途地域	その他				18 外				-	ANCHO III	1,
11.其	才産区分	公共用				観	,		4			No.
(設	を設概要 置の経緯や背景、施)特徴や必要性など)	ム周辺の 置さ大が楽しめ 湯が楽しめ 福祉や物で ラウグラウン	の瓜田ダムの別光レクリエ、別光レクリエ、別光レクリエ、別点、サウナ、別にいまで、別の名されて、節でがある。	ーション施 アラ、天の 露天風呂、 は民などがも る。館内に 外にはゲー できる広場っ	設として設 湯と替わりのある。よいボールがある。 かある。 は、ボールがある。 年	19 内 部						
13.主	主な利用者	市民				20.∄	胜 難	所の指定(標高)	_		21.00	m
14.禾	引用者駐車可能台数	300台				21.‡	父 票	所の指定		無	ŧ	
22.	土地面積		Ę	51,819.37	m ^²		総	延床面積			2,054.15	m ^²
土地	現況地目	宅地					取得	身価額計(開始時簿価計)	776506千円			
情	土地所有形態	所有					階刻	数・構造(主たる建物)	地上1階・	W∙木造		
報	借受面積			0.00	m²	24. 建	建	築年(主たる建物)	1998年			
	(区分•単位)	平成28年	丰度決算	平成27年	年度決算	物	法	定点検(主たる建物)	対象			
23. 利	(巴力 丰田)	人·食	前年比%	人·食	前年比%	┫┈┝	建	物所有状況	市有物件			
	利用者数	138,778	100.5	138,076	-		借	受面積	0.00 m²			
報	開館日数	318	100.6	316	-		耐	震対応(主たる建物)	対応済			
	利用量率	436	99.8	437	-		未利用スペース				0	m ^²
	(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	丰度決算			(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	F度決算
		千円	前年度比%	千円	前年度比%				千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	-	0	-			D支出計® 定管理料除く)	7,668	69.3	11,064	-
	使用料(減免後)②	0	_	0	-		7	施設のコスト	3,168	48.3	6,564	-
	その他③	0	_	0	-		į	事業のコスト	0	_	0	_
25. 収	≪参考≫ 使用料減免額④	0	_	0	-	26. 支		人に係るコスト	4,500	100.0	4,500	-
入	指定管理者の収入計⑤	155,637	99.3	156,674		出	指	定管理者の支出計⑨	136,915	95.8	142,973	_
	指定管理料⑥	4,114	100.0	4,114	_		7	施設のコスト	51,178	92.0	55,649	_
	利用料金収入	61,868	100.6	61,505	_			自主事業以外のコスト	0	-	0	_
	自主事業収入	89,655	98.5	91,055	_			自主事業のコスト	48,445	97.2	49,860	_
	その他収入	0	_	0	_			人に係るコスト	37,292	99.5	37,464	_
	収入合計⑦	155,637	99.3	156,674			支	出合計⑩	144,583	93.9	154,037	_
		_	_	-	_			請負費·修繕費	3,051	54.2	5,628	_
29.施	設経営における実質的な (⑦-⑥)	151,523	99.3	152,560	-			負担額⑪)-①+⑥)	11,782	77.6	15,178	_
	定管理者の収支差引	18,722	136.6	13,701	-	負	市負	負担割合(%) ○÷⑩)	8	82.7	10	_
	拖設所管課	高岡・地均	城市民福祉	課				注管課	高岡·地均	城市民福祉	課	

1.台	帳都	香号 3340	3.利]用用途別分類	保養観光施設			
2.旅	設名	高岡温泉やすらぎの郷	4.利]用圏域別分類	広域·市域			
		5.基础	芒評 征	5				
	評価指標	A:品質:平均点以上、供給·財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給·財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給·財務:平均点未満 D:品質:平均点未満、供給·財務:平均点未満					Α	
		品質評価の評価(偏差値)					52.4	
		供給評価・財務評価の評価(偏差値)				50.1		
	質	劣化度点数(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価が低い。	の	評価指標 築年数(棟平均) 劣化度点数(棟平均) 耐震対応(棟平均)	平成28年度 18.000 年 2.000 件 5.000 点	偏差値 56.6 49.5 54.9	平均 25.800 1.900 4.700	件点
	評価		結果	クレーム点数 バリアフリー未対応(棟平均) 評価値	4.000 点 0.000 件	44.7 56.3 52.4	4.500 0.900	件
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
	② 供	利用量率の評価が低い。	指標	日あたり利用者数	436.000 人	48.8	482.000	人
	給	床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	の	建物1㎡当たりの利用量率		41.2	0.687	人
	評価		建物1㎡当たりの利用量率	台			台	
	Щ		*	土地1㎡当たりの利用量率	, ,	44.6	40.116	人
				市負担額千円当たりの利用量	11.779	44.6 44.9	49.116	
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
	<u> </u>		ीर्य	市負担割合	8.150 %	58.6	28.430	%
	③ 財			市負担額(ソフト)前年度比	91.400 %	52.5	105.033	%
	務評		の	建物1㎡当たりの市負担額	5.736 千円		10.726	千円
	価		結果	土地1㎡当たりの市負担額	千円		0.140	千円
				利用量当たりの市負担額 評価値	0.085 千円	52.7 55.2	0.149	千円
	品質評価の分布図品	第年数(棟平均) 75.0 50.0 50.0 第化度点数(棟平 応(棟平均) り クレーム点数 耐震対応(棟平均)	供給評価・財務評価の分布図	利用量当たりの 担額 土地1㎡当たりの市 負担額 建物1㎡当たりの市 負担額 市負担額(ソフト) 同	市負担	建物1㎡ 用建物1㎡		
	質評価(横)/供給・財務評価(縦)	25 30 35 40 45 50 to 60 65 70 to 60 55 70 to 60 65 70	供給評価(横)/財務評価(縦)	25 30 35 40 •	70 65 60 55 55 45 50 55 55 45 50 55	60 (5 70	

	(2)施設評価シート 施設評価(H29) 平成29年度											
台口	帳番号	3340	利用用途別分類	保養観光施設								
	设名 設名	高岡温泉やすらぎの郷	利用圏域別分類	広域·市域								
1			数が平均年数以下であ 上回っている。	あること、市の負担がほぼ指定管理料と								
2		【評価指標】劣化度点数【原因】温泉施 【評価指標】クレーム点数【原因】接客類										
3	供給評価の分析 ※ 【評価指標】利用量率【原因】平成26年に利用料の値上げを行った影響により利用者数が減少した。 供給評価の分析 ※ 【評価指標】床面積1㎡当たりの利用量率【原因】特別浴室について利用者数は年々増加している。 事場点未満の評価が、入浴介助が必要な方専用の浴室であるため利用者が制限され、また利用の度に清掃が入るの。 が、入浴介助が必要な方専用の浴室であるため利用者が制限され、また利用の度に清掃が入るの。 「評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】経年劣化による修繕費の増額による。											
4	財務評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	なし										
5	定性的な要素の分析 (総括)	石崎の杜歓鯨館、自然休養村センター る。	-の他、民間でも市中心	*部や青島地域に類似施設が存在す								
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名	なし										
7	分類が同じ)施設の	椿山森林公園、自然休養村センター、ス、石崎の杜歓鯨館、フローランテ宮崎田野物産センター、道の駅田野総合案	奇、フェニックス自然動 物									
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	湯之谷温泉(民間:宮崎市高岡町小山	I田1392)									
9	防災対策施設として の位置づけの有無。 有の場合は内容	なし										
10	交通事情(幹線道路 および公共交通機 関)の状況	県道日南高岡線(28号線)の宮崎市門 崎交通「高岡温泉やすらぎの郷」バス(
11		宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年1 【将来の人口】355,433人(平成52年1										
12	将来の修繕更新に係 る見込み(建て替え の時期・事業費(概 算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】9.1億円程										
13	その他総合評価に勘 案すべき事項(包括 外部監査の結果・対 応、他自治体との比 較など)	地元の農産品や加工品、工芸品等の 品等のアピールに貢献している。	販売を行っており、これ	らを含めた物販売上は多く、地元農産								

		(と/)地設を 施設評価(H29)	<u> 半価シート</u>)		平成29年度						
슫	長番号	3340	利用用途別分類	保養観光施設	1 及25千尺						
	设名	高岡温泉やすらぎの郷	利用圏域別分類	広域•市域							
14	総合評価(案)(総 括)	建物の評価(案)は「継続」とし、将来の 新、計画的な保全に取り組む。	生物の評価(案)は「継続」とし、将来の大規模改修費用を削減するため、定期的な温泉施設の更 所、計画的な保全に取り組む。 機能の評価(案)は「継続」とし、指定管理料の削減を図るため利用者増につながる取り組みを行う。								
15	建物の評価(案) ※ 継続、改修・更新、処 分(廃止、売却・譲 渡、貸付)から選択	継続	Ē								
16	建物の評価(案)の 理由	基礎評価の品質、供給評価は平均点と数も持ち直しつつある。建物は築19年をとまでは至っていない。温泉施設という切な管理を行う。	を迎えようとしているが	定期的な修繕により大規	規模改修の実施						
17	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組(案) ※15が 「処分」以外のとき	温泉施設はレジオネラ属菌の発生等の 工事費、修繕費を削減していくことは困			提供するため						
18	機能の評価(案) ※ 継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	継続									
19	機能の評価(案)の 理由	平成26年の利用料の値上げにより減 ントとの連携により、更なる利用者増に	少した利用者も持ち直し つなげる。	しつつある。PR活動の強	金化や地域イベ						
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組(案) ※18 が「廃止」以外のとき	高岡温泉やすらぎの郷については利用年間は前指定管理期間の半額以下となる場合ではできます。 者増につなげることで指定管理料の削	なったが、魅力あるイベ								
21	※「総量の最適化」、 「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が行政の役割として継続して保有する施約、民間への売却・譲渡に取り組み、が地域が主体となって自立経営が見込ま財産貸付に変更するなど)を進める。また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 も設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、k ⁻ る。	幾能の統合・集						
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし									
24	アンケート(施設利用者)	対象外									

		施設評価(H29)	<u> </u>		平成29年度		
台「	帳番号	3340	利用用途別分類	保養観光施設			
	设名	高岡温泉やすらぎの郷	利用圏域別分類	広域·市域			
	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、将来の大規画的な保全に取り組む。 機能の評価は「継続」とし、指定管理料	模改修費用を削減する				
	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分 (廃止、売却・譲渡、 貸付)から選択						
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質、供給評価は平均点」数も持ち直しつつある。建物は築19年とまでは至っていない。温泉施設という切な管理を行う。	を迎えようとしているが?	定期的な修繕により大規	見模改修の実施		
29	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組 ※28が「処 分」以外のとき	温泉施設はレジオネラ属菌の発生等 <i>0</i> 工事費、修繕費を削減していくことは困)リスクを抱えており、市 難である。	「民に安全なサービスを	提供するため		
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	継続					
31	機能の評価の理由	平成26年の利用料の値上げにより減 ントとの連携により、更なる利用者増に		,つつある。PR活動の強	能化や地域イベ		
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組 ※31が 「廃止」以外のとき	高岡温泉やすらぎの郷については利用年間は前指定管理期間の半額以下とる者増につなげることで指定管理料の削	なったが、魅力あるイベ				
経営の方向性 ※ 「総量の最適化」、「一一で取り組み、施設の民間施設との競合の有無、採算性(収益性)、公共性などを設定では、 「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた、 利用用途別分類の 経営の方向性 財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。							

施設カルテ (1)施設基本情報シ

1.台帳番号 9520					/ NE IX 42-1			用途別分類	保養観光	施設		
2.施	設名	宮崎市道	の駅高岡			4.利用圏域別分類			広域·市域			
5.所	在地(町名•番地)	高岡町花	見304-5			15.設置根拠法令						
6./1	ス停	花見(400	m)			16.設置条例			宮崎市道の駅高岡条例			
7.開	設年月日	平成6年4	平成6年4月1日				市の	計画	現状のま	ま当面は存	F続する	
8.施言	段運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎中央農業協同組合)								1		
9.指	定管理期間	平成26年4月1日~平成31年3月31日				18.		in talk				
10.月	月途地域	その他				外観		905	STATE OF THE STATE			
11.則	才産区分	公共用				餓	•					
(設:	施設概要 置の経緯や背景、施)特徴や必要性など)	設置の要望 ともに、高原 通行車両の	D住民かられ 星を受け、道 岡地域の特 D休憩場所 E備えた「道	[路情報を摂 産品を販売 および特産	是供すると するため、 品の販売	19. 内部						
13.主	Eな利用者	観光客、地	!元住民			20.退	避難	所の指定(標高)	_		12.90	m
14.禾	训用者駐車可能台数	61台				21.扮	少票	所の指定		無	ŧ	
22.	土地面積			4,699.69	m ^²		総致	延床面積			834.37	m [*]
_	現況地目	宅地					取得	価額計(開始時簿価計)	29	4550千円		(-)
情	土地所有形態	所有					階数	女・構造(主たる建物)	地上2階・	SRC•鉄筋	鉄骨コンク	7リート
報	借受面積			0.00	m³	24. 建	建乳	築年(主たる建物)	1994年			
	(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	F度決算	物	法员	定点検(主たる建物)	対象			
23. 利		人·食	前年比%	人·食	前年比%	情報	建物	物所有状況	市有物件			
	利用者数	159,960	98.6	162,309	-		借	受面積	0.00 m			m [*]
報	開館日数	362	100.0	362	-		耐湿	夏対応(主たる建物))対応済			
	利用量率	442	98.7	448	-		未和	利用スペース		-	289	m²
	(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	丰度決算			(区分•単位)	平成28年	丰度決算	平成27年	F度決算
		千円	前年度比%	千円	前年度比%				千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	57	2850.0	2	-)支出計⑧ 定管理料除く) 	982	12.5	7,882	_
	使用料(減免後)②	0	_	0	-		方	を設のコスト	162	2.3	7,062	_
	その他③	57	2850.0	2	-		4	事業のコスト	70	100.0	70	_
25. 収	≪参考≫ 使用料減免額④	0	_	0	-	26. 支	Ľ	人に係るコスト	750	100.0	750	-
入	指定管理者の収入計⑤	22,079	107.0	20,639	-	出	指定	官管理者の支出計⑨	19,387	98.5	19,676	-
	指定管理料⑥	0	-	0	-		方	を設のコスト アンファイ	7,524	96.9	7,763	-
	利用料金収入	22,079	108.9	20,277	-		É	自主事業以外のコスト	5,314	114.0	4,660	-
	自主事業収入	0	0.0	362	-		E	自主事業のコスト	0	0.0	537	_
	その他収入	0	-	0	_			人に係るコスト	6,549	97.5	6,716	-
	収入合計⑦	22,136	107.2	20,641	-		支出	出合計⑩	20,369	73.9	27,558	-
(4 ÷	用料減免割合(%) -(②+④))	-	_	_	_			請負費・修繕費	162	6.2	2,611	_
収入	設経営における実質的な (⑦-⑥)	22,136	107.2	20,641	_	市	(8)	(担額① 一①+⑥)	925	11.7	7,880	_
30.指 (⑤-	定管理者の収支差引 -⑨)	2,692	279.5	963		1			5 15.9 29 -			
32.旅	拖設所管課	高岡・農林	林建設課			33.旅	 色設	主管課	高岡·農林	林建設課		

1.台	帳都	5号 9520	3.利]用用途別分類	保養観光施設			
2.旅	設名	宮崎市道の駅高岡	4.利]用圏域別分類	広域·市域			
		5.基礎	き評 征	5				
	評価指	A:品質:平均点以上、供給·財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給·財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給·財務:平均点未満 D:品質:平均点未満、供給·財務:平均点未満					A	
	標						E0 1	
		品質評価の評価(偏差値)					52.1	
		供給評価・財務評価の評価(偏差値)					58.2	
	1		指	評価指標 築年数(棟平均)	平成28年度 21.700 年	偏差値 53.5	平均 25.800	年
	品質	クレーム点数の評価が低い。	標	劣化度点数(棟平均)	0.800 件	55.5	1.900	
	貝評		の結	耐震対応(棟平均) クレーム点数	5.000 点 4.000 点	54.9 44.7	4.700 4.500	
	価		果	バリアフリー未対応(棟平均)	0.600 件	52.1	0.900	
				評価値	0.000 11	52.1	0.000	11
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
	2		指	日あたり利用者数	442.000 人	49.0	482.000	人
	供	利用量率の評価が低い。	4766		0.530 人	47.1	0.687	人
	給評	床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。	の結	建物1㎡当たりの利用量率	台			台
	価		果	土地1㎡当たりの利用量率				人
				市負担額千円当たりの利用量	172.930	67.9	49.116	
				評価値		54.7		
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
	3		指		4.540 %	60.2	28.430	%
	財	1	標	市負担額(ソフト)前年度比	14.500 %	66.8	105.033	%
	務評		の結	建物1㎡当たりの市負担額	1.109 千円		10.726	千円
	価		果	土地1㎡当たりの市負担額 利用量当たりの市負担額	千円 0.006 千円		0.149	千円
				評価値	0.000 111	61.6	0.140	,
	品質評価の分布図品	第年数(棟平均) 75.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0	供給評価・財務評価の分布図	利用量当たりの 担額 土地1㎡当たりの市 負担額 建物1㎡当たりの市 負担額 市負担額(ソフト)前	市負担	型 建物1r		
	質評価(横)/供給・財務評価(縦)	55 30 35 40 45 50 0 65 70 55 55 55 55 55 55 55 55 55 55 55 55 55	供給評価(横)/財務評価(縦)	25 30 35 40	70 65 60 45 50 50 55 45 45 50 50 55	60 (5 70	

		(2)施設 施設評価(H29		平成29年度						
스	帳番号	9520	利用用途別分類	保養観光施設						
	设名 	 宮崎市道の駅高岡	利用圏域別分類	広域·市域						
1	基礎評価の分析(総 括)									
2	品質評価分析 ※平 均点未満の評価指標、平均点未満の原 因等	: NT 1111111111111 - 4 元 双 1 「百円1女以内ケサにトスツルから、目も日の乗さめる仲威を芋棒レーブケ数同型はている。 佐むの十								
3		【評価指標】床面積1㎡当たりの利用量 【原因】年度毎に利用者数の増減はあ		は増加傾向である。						
4	財務評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	なし								
5	定性的な要素の分析 (総括)	当施設は、高岡地区の観光や農産物、 線沿いに立地しているため、道路利用	、特産品をアピールす。 者の休憩所としても適	るのに最適な場である。また、国道10号 しており、近隣に類似施設がない。						
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名	東高岡保育所、宮崎市東高岡体育館、	、宮崎市消防団高岡分	↑団第5部消防団車庫						
7		津倉市民農園管理棟、石崎の杜歓鯨 郷、椿山キャンプ場、椿山森林公園、 ター、道の駅フェニックス、フローランデ 夢、城の駅	自然休養村センター、F	白浜オートキャンプ場、青島ビーチセン						
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名									
9	防災対策施設として の位置づけの有無。 有の場合は内容	なし								
10	交通事情(幹線道路 および公共交通機 関)の状況	宮崎西ICから約4km西進した、国道1 ある。	O号線の花見交差点項	東側に位置しており、交通事情は良好で						
11		Sよ 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口)								
12	将来の修繕更新に係 る見込み(建て替え の時期・事業費(概 算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】3.7億円程								
13	その他総合評価に勘 案すべき事項(包括 平成23年度の包括外部監査で、遊休状態となっている施設2階部分の活用について言及があり、 外部監査の結果・対 お、他自治体との比 指定管理者が利用促進を図っているものの、実績に結びついていない。 酸など)									

			<u> 半価シート </u>		고 choote						
/>	E 프 ㅁ	施設評価(H29)		D 羊织业长訊	平成29年度						
		9520	利用用途別分類	保養観光施設							
施	設名	宮崎市道の駅高岡 利用圏域別分類 広域・市域 建物の評価(案)は、「継続」とする。									
14	総合評価(案)(総 括)	建物の評価(案)は、「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、将 む。 機能の評価(案)は、「継続」とする。 指定管理者の収益が大きい場合に納									
15	建物の評価(案) ※ 継続、改修・更新、処 分(廃止、売却・譲 渡、貸付)から選択	收修·更新、処 此、売却·讓									
16	建物の評価(案)の 理由	基礎評価の品質はほとんどの項目が ³ いる老朽化部分について必要な改修を	平均点以上であるため「 E行う。	「継続」とする。クレーム	の原因となって						
	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組(案) ※15が 「処分」以外のとき	定期的な点検及び整備を行いながら、	修繕更新費用の削減に	こ取り組む。							
18	機能の評価(案) ※ 継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	継続									
19	機能の評価(案)の 理由	基礎評価の供給・財務は平均点以上でる。	ごある。年度毎の増減は	はあるものの利用者数は	は増加傾向にあ						
20		道の駅高岡の指定管理料の年額はOF の一部を市へ納入する仕組みを導入し)収益が大きい場合に約	州付金としてそ						
21	※「総量の最適化」、 「質の向上」、「投資 の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が行政の役割として継続して保有する施約、民間への売却・譲渡に取り組み、が地域が主体となって自立経営が見込ま財産貸付に変更するなど)を進める。また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 も設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、ホ ⁻ る。	機能の統合・集						
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし									
24	アンケート(施設利用者)	対象外									

	(2)施設評価ソート 施設評価(H29)											
Ļ					平成29年度							
	帳番号	9520	利用用途別分類	保養観光施設								
施	設名	宮崎市道の駅高岡	利用圏域別分類	広域·市域								
26	総合評価(総括)	建物の評価は、「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、将む む。 機能の評価は、「継続」とする。 指定管理者の収益が大きい場合に納										
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分 (廃止、売却・譲渡、 貸付)から選択	継続										
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質はほとんどの項目が ¹ いる老朽化部分について必要な改修を		「継続」とする。クレーム	の原因となって							
29	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組 ※28が「処 分」以外のとき	定期的な点検及び整備を行いながら、	修繕更新費用の削減に									
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	継続										
31	機能の評価の理由	基礎評価の供給・財務は平均点以上でる。	ごある。年度毎の増減に	はあるものの利用者数は	増加傾向にあ							
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組 ※31が 「廃止」以外のとき	道の駅高岡の指定管理料の年額はOPの一部を市へ納入する仕組みを導入し	円である。指定管理者の している。	 D収益が大きい場合に約	対付金としてそ							
33	の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が行政の役割として継続して保有する施約、民間への売却・譲渡に取り組み、が地域が主体となって自立経営が見込ま財産貸付に変更するなど)を進める。また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証したよ 施設の数・面積を削減す	こで、施設の長寿命化、ホ ける。	機能の統合・集							

施設カルテ (1)施設基本情報シ

1.台	1.台帳番号		90040		(1).他敌基/			<u>╱</u> 用途別分類	保養観光	 施設			
2.施	設	名	交流プラヤ	デきよたけ	四季の夢	<u> </u>	4.利	用	 圏域別分類	広域·市域				
5.所	在	地(町名・番地)	清武町西	新町1−1			15.設置根拠法令							
6./ヾ	ス	· 停	清武総合	支所前(50)m)		16.設置条例			宮崎市交流プラザきよたけ条例				
7.開	設	年月日	平成22年	3月5日			17.7	†o	D計画	現状のま	ま当面は存	続する		
8.施言	没i	軍営形態(指定管理者)	指定管理者	首(株式会社	上四季の夢))								
9.指	定	管理期間	平成27年	3月23日~	·平成32年	3月31日	18			1				
10.F	Ħί	金地域	近隣商業	地域			外 観		CONTROL OF THE PROPERTY OF THE					
11.貝	ţ,	産区分	公共用											
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施 設の特徴や必要性など)		することに、なかをは、はないでは、ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、といいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	をはいます。 をはいます。 はいままます。 はいままます。 はいままます。 はいまままます。 はいままままます。 はいままままます。 はいままままます。 はいままままます。 はいままままます。 はいままままます。 はいまままままます。 はいまままままままます。 はいまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	と消費者の 努めるととも で高齢者・ 世代間交流 ・図る。また 也の地域情 を有するこ	交流にない。 ではいいがという ではいいがいがいがいがいる では、報をより でいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	19 内 部	1							
13.Ξ	13.主な利用者			產品、農産加 香、高齢者、			20.⅓	旺 業	推所の指定(標高)	_		19.30	m	
14.秆	14.利用者駐車可能台数		1台		<u> </u>	r	21.‡	殳 勇	真所の指定		無	ŧ		
22	±	_地面積			1,362.03	m [*]	総延床面積		364.25 m²					
土			宅地				取得価額計(開始時簿価計)			56232千円 (一				
情			所有					階	数・構造(主たる建物)	地上1階・	W∙木造			
報	佳	昔受面積			0.00	m²	24. 建	建	築年(主たる建物)	2010年				
	(区分•甾位)		平成28年	F度決算	平成27年	丰度決算	物	物 法定点検(主たる建物)		対象				
23. 利	(区分・単位)		人·食	前年比%	人·食	前年比%	情 報	建	物所有状況	市有物件				
用	禾	川用者数	162,322	99.8	162,607	-		借受面積				0.00	m²	
情報	開	閉館日数	360	100.0	360	-		耐	震対応(主たる建物)	対応済				
	禾	川用量率	451	99.8	452	-		未利用スペース				0	m¹	
		(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	年度決算			(区分•単位)		平成28年度決算 平成28年度決算 平成28年度決算 平成28年度決算 平成28年度決算 平成28年度決算 平成28年度決算 平成28年度		平成27年	丰度決算
			千円	前年度比%	千円	前年度比%				千円	前年度比%	千円	前年度比%	
		iの収入計① ②+③)	0	_	0	-			の支出計⑧ 旨定管理料除く)	750	100.0	750	_	
		使用料(減免後)②	0	_	0	-			施設のコスト	0	-	0	_	
		その他③	0	_	0	-			事業のコスト	0	_	0	_	
25. 収		≪参考≫ 使用料減免額④	0	-	0	-	26. 支		人に係るコスト	750	100.0	750	_	
入	指	定管理者の収入計⑤	147,437	97.1	151,768	-	出	指	定管理者の支出計9	147,242	97.0	151,815	_	
		指定管理料⑥	2,500	89.3	2,800				施設のコスト	2,903	95.8	3,030		
		利用料金収入	14,292	97.8	14,608	_			自主事業以外のコスト	119,782	97.4	123,021	-	
		自主事業収入	7,463	96.8	7,711	_			自主事業のコスト	6,304	97.3	6,476	_	
		その他収入	123,182	97.3	126,649	_			人に係るコスト	18,253	94.6	19,288	_	
		双入合計⑦	147,437	97.1	151,768	_		支	出合計⑩	147,992	97.0	152,565	-	
(4)÷	- ((料減免割合(%) ②+④))	-	-	-	_			ā請負費·修繕費	0	-	0	-	
		経営における実質的な)-⑥)	144,937	97.3	148,968	-			負担額⑪ ()-①+⑥)	3,250	91.5	3,550	-	
30.指 (⑤-		管理者の収支差引))	195	△ 414.9	△ 47	_			負担割合(%) D÷⑩)	2	94.4	2	-	
32.方	色	投所管課	清武·地均	城市民福祉	·課		33.方	拖討	设主管課	清武·地均	城市民福祉	課		

1.台	帳	番号 90040	3.利]用用途別分類	保養観光施	設			
2.施	設名	交流プラザきよたけ 四季の夢	4.利]用圏域別分類	広域·市域				
		5.基礎	色評句	T					
	評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満 品質評価の評価(偏差値) 供給評価・財務評価の評価(偏差値)						A 58.5	
		供稿評価・財務評価の評価(偏差値)	1	Г	1	_		54.3	
				評価指標	平成28年月	芰	偏差値	平均	
	1		指	築年数(棟平均)	6.000		66.7	25.800	
	①品質評		1024	劣化度点数(棟平均)	0.000		59.5	1.900	-
	負評		の結	耐震対応(棟平均)	5.000	点点	54.9	4.700	
	価		果	クレーム点数 バリアフリー未対応(棟平均)	5.000 0.000	件	55.3 56.3	4.500 0.900	
				評価値	0.000	1+	58.5	0.900	1+
					平成28年月	#		平均	
				評価指標			偏差値		1
			11-	日あたり利用者数	451.000	人	49.2	482.000	人
	② #		指標	連携はよりましても	1 000		00.0	0.007	
	供給	利用量率の評価が低い。	の	建物1㎡当たりの利用量率		人	60.3	0.687	人
	評価		結果	建物1㎡当たりの利用量率		台 -			台
	Щ		木	土地1㎡当たりの利用量率		人	/		人
				市負担額千円当たりの利用量	49.945		50.1	49.116	
				評価値	亚宁尔东	÷-	53.2	TT 16	
				評価指標 市負担割合	平成28年原 2.200		偏差値 61.2	平均 28.430	%
	3		指	市負担額(ソフト)前年度比	91.500	% %	52.5	105.033	%
	③財務評		標の	建物1㎡当たりの市負担額	8.922		52.5	10.726	千円
			結	土地1㎡当たりの市負担額		千円	02.0	10.720	千円
	価		果	利用量当たりの市負担額	0.020	千円	55.4	0.149	千円
				評価値	'		55.4		
	品質評価の分布図品	第年数(棟平均) 75.0 50.0 パリアフリー未対 応(棟平均) タレーム点数 が開震対応(棟平均)	供給評価・財務評価の分布図	担額 土地1㎡当たりの市 負担額 建物1㎡当たりの市 負担額 市負担額(ソフト) 年度比		市負担	# 用 建物1r		l
	質評価(横)/供給・財務評価(縦	70 65 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60	供給評価(横)/財務評価(縦)	25 30 35 40	50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 5	*	♦	5 70	
	$\overline{}$								

		1	施設評価(H2	<u>:評価ン一ト</u> g)		平成29年度				
台[帳番号	90040	100天6十四(172	利用用途別分類	保養観光施設	1 及25千尺				
	设名	交流プラザきよたけ	四季の夢	利用圏域別分類	広域・市域					
1	基礎評価の分析(総 括)	品質、供給・財務ともに			land desa					
2	品質評価分析 ※平 均点未満の評価指標、平均点未満の原 因等	の評価指ltol								
3				数のカウントがレジによ の利用者数よりも少なく	るものであるため、コミュ なっている。	ニティスペース				
4	財務評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等									
5	定性的な要素の分析 (総括)	市全体に同じ利用用途	金の施設が点右	Eしている。						
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名	育て支援センター、宮崎	崎市清武総合		会館、清武体育館、宮崎 よたけ児童文化センター 園」ほか27施設					
7	利用圏域内にある市 の類似(利用用途別 分類が同じ)施設の 有無。有の場合は施 設名	野総合案内施設、高岡ター、宮崎市白浜オー	間温泉やすらぎ トキャンプ場、	の郷、椿山キャンプ場、	奇市田野物産センター、2 椿山森林公園、宮崎市 ター、宮崎市道の駅フェニ 高岡、城の駅	自然休養村セン				
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名									
9	防災対策施設として の位置づけの有無。 有の場合は内容	なし								
10	交通事情(幹線道路 および公共交通機 関)の状況				進し、950m程直進した位 ご、交通事情は良好である					
11	施設の所在地付近に おける現在人口およ び将来人口の動向	【現在の人口】399,979		10月1日現在 現住人 10月1日時点 国立社	ロ) 会保障・人口問題研究所	·推計值)				
12	将来の修繕更新に係 る見込み(建て替え の時期・事業費(概 算))	【建て替えの時期】205 【建て替えの事業費(#	0年代 既算)】1.7億円和	程度						
13	その他総合評価に勘 案すべき事項(包括 外部監査の結果・対 応、他自治体との比 較など)	平成23年度の包括外間 た。	部監査において	こは、合併特例区所管の	の施設であったため監査	対象外であっ				

		(2)他設ま			T-+00+=
1.	LE TO CO	施設評価(H29)			平成29年度
	帳番号	90040	利用用途別分類	保養観光施設	
施	设名	交流プラザきよたけ 四季の夢	利用圏域別分類	広域·市域	
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は、「継続」とし、「総量を削減するために計画的な保全に取りとして、指定管理料の段階的削減を既	組む。機能の評価(案		
15	建物の評価(案) ※ 継続、改修・更新、処 分(廃止、売却・譲 渡、貸付)から選択	継続			
16	建物の評価(案)の 理由	基礎評価の品質が平均点以上であり、	大規模な修繕工事等	は見込まれないため。	
	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組(案) ※15が 「処分」以外のとき	構造が木造であるため、鉄骨造や鉄筋 込まれる。平成22年建築の家屋である 万円前後)や屋根修繕、設備類の軽微 屋の耐用年数が30年程度であることが もしくは廃止の検討が必要となる。	ることから、建築後20억 な修繕が発生するも <i>0</i>	∓程度は2~3回の塗装)と見込まれる。また、-	工事(1回100 -般的な木造家
18	機能の評価(案) ※ 継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	継続			
19	機能の評価(案)の 理由	品質、財務ともに平均点以上である。え間16万人超、売上げは年間1億5千万	丘隣に類似の施設がな 5円前後と安定してきた	く、平成22年の開設か -ため。	ら利用者数は年
20	フト)を削減する具体	指定管理料は、平成22年度の年間89円に減額した。また、平成26年度に指成27年度280万円、平成28年度25031年度100万円に減額することが可能である。	定管理者を公募により 0万円、平成29年度2	選定した。これにより指	定管理料を平
21	※「総量の最適化」、 「質の向上」、「投資 の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が行政の役割として継続して保有する施約、民間への売却・譲渡に取り組み、が地域が主体となって自立経営が見込ま財産貸付に変更するなど)を進める。また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証したよ も設の数・面積を削減す	ニで、施設の長寿命化、ネ する。	機能の統合・集
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし			
24	アンケート(施設利用者)	対象外			

	(2) 施設評価ソート 施設評価(H29) 平成29年度											
/>-	F = 1		也設評価(HZ9)		八业工	/p 쑥 /p 사 //- =n.	平成29年度					
	帳番号 	90040	m = e =	利用用途別		保養観光施設						
施	设名	交流プラザきよたけ	四季の罗	利用圏域別	分類	広域・市域						
26	総合評価(総括)	建物の評価は、「継続」 減するために計画的な 指定管理料の段階的削	保全に取り組む	こ。機能の評価								
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分 (廃止、売却・譲渡、 貸付)から選択	継続										
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質が平均]点以上であり、	大規模な修繕	善生事等に	は見込まれないため。						
29	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組 ※28が「処 分」以外のとき	構造が木造であるため、 込まれる。平成22年建 万円前後)や屋根修繕、 屋の耐用年数が30年和 もしくは廃止の検討が必	築の家屋である、設備類の軽微 望度であることが	ることから、建設な修繕が発生	築後20年 ∃するもの	三程度は2~3回の塗装 と見込まれる。また、一	工事(1回100 般的な木造家					
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択											
31	機能の評価の理由	品質、財務ともに平均点 間16万人超、売上げは					ら利用者数は年					
32	フト)を削減する具体	指定管理料は、平成22 円に減額した。また、平成27年度280万円、平 31年度100万円に減額	成26年度に指 成28年度250	i定管理者を公 O万円、平成2	募により	選定した。これにより指	定管理料を平					
33	の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず 行政の役割として継続し 約、民間への売却・譲渡 地域が主体となって自立 財産貸付に変更するなまた、使用料の適正化に	して保有する施 隻に取り組み、カ 立経営が見込ま ど)を進める。	設か十分に検 も設の数・面積	証した上 を削減す	で、施設の長寿命化、ホ ⁻ る。	幾能の統合・集					

施設カルテ (1)施設基本情報シ

1.台	帳	番号	4470		<u> </u>).他敌基/			 用途別分類	保養観光	 施設		
2.施	設	名	宮崎市青	島ビーチセ	ンター		4.利	川用		広域·市域			
5.所	在	地(町名•番地)	青島二丁	目233番地			15.設置根拠法令						
6./ヾ	ス	· 停	青島(160	m)			16.	设置		宮崎市青島ビーチセンター条例			
7.開	設	年月日	平成8年3月22日 1				17.ī	市の)計画	現状のま	 ま当面は有	禁続する	
8.施言	没道		指定管理者(渚の交番青島プロジェクト実行 委員会)										-
9.指	定	管理期間	平成27年4月1日~平成32年3月31日				18				THE P		
10.月	月道	途地域	近隣商業	地域			外	.		(基本)			A 40-
11.則	オ産	至区分	公共用				観	Ł			Mark !	Total State of	
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施 設の特徴や必要性など)			修し、「海清 が で 地付け、平 している。 言 ま 治 る で え た え た え た え た え た え た う た う た う た う た	開設していた ■利用者の利 両側」のため 成24年度島本 また、養庸・ は24年度島本 は24年度	刊便性向上 の拠点、通年 球水浴場を 球に併せ、 で は11年3月に で が、対象テント	と観光 B B B B B B B B B B B B B	19. 内部			100	3.5-64 W 100		
13.主	Èな	に利用者	市民、観光	:客			20.j	<u>辟</u> 葉	鮮所の指定(標高)	_		6.00	m
14.禾	训用	用者駐車可能台数	0台				21.‡	没勇	順の指定		無	ŧ	
22.	土	地面積			1,664.59	m [*]		総	延床面積	426.50			m [*]
土			宅地				取得価額計(開始時簿価計)					(-)	
情	情 土地所有形態		所有(一部	『借受)				階	数・構造(主たる建物)	地上1階・	W·木造		
報	借	受面積					24. 建	建	築年(主たる建物)	1996年			
	([区分∙単位)	平成28年	F度決算	平成27年	丰度決算		法	定点検(主たる建物)	未対象			
23. 利			人·食	前年比%	人·食	前年比%	報	建	物所有状況	市有物件			
	利	用者数	179,629	125.6	142,976	-		借	受面積			0.00	m³
報	開	館日数	322	100.0	322	-		耐	震対応(主たる建物)	対応済			
	利	用量率	558	125.7	444	-		未利用スペース		0 m²		m [*]	
		(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	丰度決算			(区分•単位)	平成28年	丰度決算	平成27年	F度決算
	Ļ		千円	前年度比%	千円	前年度比%		Ļ		千円	前年度比%	千円	前年度比%
		の収入計① ②+③)	0	-	0	-			の支出計⑧ 能定管理料除く)	756	99.3	761	_
		使用料(減免後)②	0	_	0	-			施設のコスト	6	54.5	11	_
	l	その他③	0	_	0	-			事業のコスト	0	_	0	_
25. 収	Ш	≪参考≫ 使用料減免額④	0	_	0	-	26. 支		人に係るコスト	750	100.0	750	-
入	Г	定管理者の収入計⑤	12,130	118.5	10,234	-	出		定管理者の支出計⑨	8,990		9,149	_
		指定管理料⑥	6,700	100.0	6,700	-			施設のコスト	1,483	84.9	1,747	_
		利用料金収入	4,673	155.8	3,000	-			自主事業以外のコスト	576	142.9	403	-
		自主事業収入	745	141.1	528	-			自主事業のコスト	46	83.6	55	_
	その他収入		12	200.0	6	-		Н	人に係るコスト	6,885	99.2	6,944	_
		八合計⑦	12,130	118.5	10,234	-		支	出合計⑩	9,746	98.3	9,910	_
(4)÷	- ((2	料減免割合(%) ②+④)) Gヴにかはる実際的な	_	-	_	-			事請負費・修繕費	0	-	0	_
収入	(7)	経営における実質的な (一⑥)	5,430	153.7	3,534	-	市	((8	負担額① ()—①+⑥) (5.45)(0/)	7,456	99.9	7,461	_
	.指定管理者の収支差引 ⑤一⑨)		3,140	289.4	1,085	-	負 市負担割合(%) 担 (⑪÷⑩)			77 101.6 75 -			
32.旅	包記	设所管課	観光戦略	課			33.力	拖討	注管課	観光戦略	課		

1.台帳	番号 4470	3.利	用用途別分類	保養観光旅	設			
2.施設	名 宮崎市青島ビーチセンター	4.利	川用圏域別分類	広域·市域				
	5.基础	楚評信	Б					
評価指標	D: 品質: 平均点 大流、供給·財務: 平均点未満						C 55.6 48.6	
 	N. (ALT D. 1 M. 1937) 11 1 mm 45 D. 1 mm (ALLE) 55 U.S.		≘≖/≖+b+m	平成28年	#	后关法	平均	
			評価指標 築年数(棟平均)			偏差値		
		指	劣化度点数(棟平均)	19.300 0.000		55.5 59.5	25.800 1.900	
品質		標の	耐震対応(棟平均)	5.000	点	54.9	4.700	
評		結	クレーム点数	5.000	点	55.3	4.500	
価		果	バリアフリー未対応(棟平均)	0.500		52.8	0.900	
			評価値			55.6		
			評価指標	平成28年	度	偏差値	平均	
			日あたり利用者数	558.000	人	51.9	482.000	人
2		指						
供給	 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	標	建物1㎡当たりの利用量率	1.308	人	61.6	0.687	人
	「一般」「「二た)の行が主の計画の 日の	の			台			台
一位		果	土地1㎡当たりの利用量率		人			人
			市負担額千円当たりの利用量	24.092		46.4	49.116	
						53.3		
			評価指標	平成28年	度	偏差値	平均	
3		指	市負担割合	76.500	%	29.5	28.430	%
財	市負担額割合の評価がきわめて低い。	標	市負担額(ソフト)前年度比	99.900	%	51.0	105.033	%
<u>務</u>	建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	の	建物1㎡当たりの市負担額	17.482	千円	40.6	10.726	千円
部		結果	土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
			利用量当たりの市負担額評価値	0.042	千円	54.5 43.9	0.149	千円
品質評価の分布図品	築年数(棟平均) 75.0 50.0 パリアフリー未対 応(棟平均) 9化度点数(棟平均) 均) クレーム点数	供給評価・財務評価の分布図	担額 土地1㎡当たりの市 負担額 建物1㎡当たりの市 負担額 市負担額(ソフト) 年度比		市負担	建物1r		
質評価(横)/供給・財務評価(総)	55 30 35 40 45 50 50 60 65 70 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	供給評価(横)/財務評価(縦)	25 30 35 40 •	75 65 65 65 65 65 65 65 65 65 65 65 65 65	55		5 †70 ♦	

					平成29年度
台	帳番号		利用用途別分類	保養観光施設	1772-172
	设名		利用圏域別分類	広域·市域	
1	基礎評価の分析(総 括)	品質の評価は、青島海水浴場管理棟だ 的に改修しているため、平均点以上とな ないため、平均点未満となっているが、	なっている。供給評価・	財務評価は、夏季以外	
2	品質評価分析 ※平 均点未満の評価指標、平均点未満の原 因等	なし			
3	供給評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	【評価指数】市負担額千円当たりの利用 【原因】】マリンスポーツは自然環境の影 期が海水浴場シーズンであることから、	影響を受けやすいスポー	ーツであることに加え、 用者が少ない。	活動する主な時
4	財務評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	【評価指数】建物1㎡当たりの市負担額 【原因】コインロッカーやコインシャワー、 ているものの、利用する主な時期が海	、手荷物預かり、自動則		
5	定性的な要素の分析 (総括)	市内に同じ利用用途の施設としてサン	ビーチーツ葉がある。		
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名				
7	利用圏域内にある市 の類似(利用用途別 分類が同じ)施設の 有無。有の場合は施 設名	宮崎市道の駅フェニックス、宮崎白浜オ園、フローランテ宮崎、宮崎市フェニック 杜歓鯨館、宮崎市田野町物産センター 市道の駅高岡、交流プラザきよたけ四	フス自然動物園、宮崎r ・・みちくさ、宮崎市道の	[†] 津倉市民農園管理棟	、宮崎市石崎の
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	サンビーチーツ葉、白浜海水浴場			
9	防災対策施設として の位置づけの有無。 有の場合は内容				
10	交通事情(幹線道路 および公共交通機 関)の状況	JR日南線青島駅から徒歩5分、宮崎交分、宮崎交分、宮崎空港より車で15分、宮崎港より			
11		宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10 【将来の人口】355,433人(平成52年10			斤推計値)
12	将来の修繕更新に係 る見込み(建て替え の時期・事業費(概 算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】1.5億円程	度		
13	その他総合評価に勘 案すべき事項(包括 外部監査の結果・対 応、他自治体との比 較など)	当該施設は日本財団の助成を受け、全 れを受け、静岡県御前崎市など他の自 管理に要する費用の負担を行っている 観光案内所としての役割など青島にお	治体も同プロジェクトを が、指定管理者におい	登りませる。市として ではこれに留まらず、I	ては施設の維持 自主事業として

	(2)施設評価シート										
/.	F = 0	施設評価(H29)		1/p ->	平成29年度						
	7 7	4470	利用用途別分類	保養観光施設							
施	设名	宮崎市青島ビーチセンター	利用圏域別分類	広域・市域							
14	総合評価(案)(総 括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評値「総量の適正化」の取り組みとして、建業 「総量の適正化」の取り組みとして、建 繕更新費用を削減するため、指定管理 に取り組む。「質の向上」として、施設や 的に行うことにより施設利用者数の向	物は、海浜地区に位置 ₹者制度を導入し、適宜 ○海浜を活用したイベン	する施設の立地の性質 、外壁の洗浄を行うなど	ご日常的な保全						
15	建物の評価(案) ※ 継続、改修・更新、処 分(廃止、売却・譲 渡、貸付)から選択	継続									
16	建物の評価(案)の 理由	青島ビーチセンターについては、平成82年度に日本財団から改修費用の全額ね平均点以上であり、施設の更新や大た際には、指定管理者と連携を取り、過	類助成を受け、リニュー :規模な改修は現時点 ⁻	アルしている。基礎評価 で予定されていない。不	iの品質は、概						
17	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組(案) ※15が 「処分」以外のとき	当該施設は海浜地区にあるものの、年で、日常的に施設の点検が可能である 外壁の洗浄等も行っており、今後も将す む。	。また、常駐スタッフが	塩害による施設の老朽	化を防ぐため、						
18	機能の評価(案) ※ 継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	継続									
19	機能の評価(案)の 理由	施設は夏季の間は海水浴場の監視棟であったり、修学旅行生の受入を行うた事業運営を行うことで、市負担額の削減	ょどして利用している。・								
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組(案) ※18 が「廃止」以外のとき	施設の維持管理に要する経費のうち、利用料金はシャワーやロッカー、自主等後も市負担軽減を図る。									
21	※「総量の最適化」、 「質の向上」、「投資 の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が 行政の役割として継続して保有する施 約、民間への売却・譲渡に取り組み、が 地域が主体となって自立経営が見込ま 財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 も設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、ホ トる。	機能の統合・集						
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし									
24	アンケート(施設利用者)	対象外									

	(2)施設評価ンート 施設評価(H29) 平成29年度										
厶г	長番号 ・	/ 他設計 (H29)	利用用途別	川乙米五	保養観光施設	十八29十尺					
	收留写 设名	宮崎市青島ビーチセンター	利用图域是		床食旣元旭設 広域·市域						
	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「 「総量の適正化」の取り組みとして、建 繕更新費用を削減するため、指定管理 に取り組む。「質の向上」として、施設や 的に行うことにより施設利用者数の向.	継続」とする 物は、海浜地 者制度を導 海浜を活用	。 2区に位置 入し、適宜 したイベン	する施設の立地の性質、外壁の洗浄を行うなど	日常的な保全					
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分 (廃止、売却・譲渡、 貸付)から選択	継続									
28	建物の評価の理由	青島ビーチセンターについては、平成82年度に日本財団から改修費用の全額ね平均点以上であり、施設の更新や大た際には、指定管理者と連携を取り、近	動成を受け 規模な改修	、リニュースは現時点で	アルしている。基礎評価 で予定されていない。不	の品質は、概					
29	用を削減する具体的	当該施設は海浜地区にあるものの、年で、日常的に施設の点検が可能である外壁の洗浄等も行っており、今後も将まむ。	。また、常駐	スタッフが	塩害による施設の老朽・	化を防ぐため、					
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	継続									
31	機能の評価の理由	施設は夏季の間は海水浴場の監視棟であったり、修学旅行生の受入を行うな事業運営を行うことで、市負担額の削減	どして利用								
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組 ※31が 「廃止」以外のとき	施設の維持管理に要する経費のうち、 利用料金はシャワーやロッカー、自主等後も市負担軽減を図る。									
33	の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が行政の役割として継続して保有する施約、民間への売却・譲渡に取り組み、が地域が主体となって自立経営が見込ま財産貸付に変更するなど)を進める。また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に 施設の数・面	検証した上 積を削減す	で、施設の長寿命化、機 る。	態能の統合・集					

施設カルテ (1)施設基本情報シート

1.台	台帳番号 3130							~' 用途別分類	保養観光施設			
2.施			 崎の杜歓魚	 涼館				当成的分類 图域別分類	広域·市均			
	在地(町名・番地)		下那珂8-1					根拠法令				
6.バ	•		<u> </u>			16.設置条例			 宮崎市石崎の杜歓鯨館条例			
-	設年月日	平成23年						<u></u> 計画		ま当面は存		
-	公寓学形能(指宁等理者)	指定管理者(宮交ショップアンドレストラン株				1. 47		300000	у. — ш. ю. г.	1130 7		
9.指		式会社) 平成28年4月1日~平成33年3月31日							-/2	-		
10.月		その他				18. 外						
11.則	 才産区分	公共用				観	ļ					
12.施設概要(設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		プールが老進や余暇活を目的とし	けが保有して を 付していた 舌動の支援。 て、合併後の けて温泉施記 した。	ため、市民 、スポーツ <i>0</i> の新市建設	の健康増)振興など 事業計画	19. 内 部						
13.主	こな利用者	市民及び市	5内外の個。	人•団体等		20.暹	 壁難	所の指定(標高)	_		4.80	m
14.禾	川用者駐車可能台数	200台				21.投票所の指定				無	Ħ	
22.	土地面積		į	55,920.00	m²	総延床面積			5,575.05 m ²			m ^²
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			(-)
情	土地所有形態	所有					階数	牧・構造(主たる建物)	地上3階	地下1階∙R	C・鉄筋コ	ンクリート
報	借受面積			0.00	m³	24. 建	建氯	築年(主たる建物)	2011年			
	(区分•単位)	平成28年	丰度決算	平成27年	丰度決算		法是	定点検(主たる建物)	対象			
23. 利	(巴刀 平四)	人·食	前年比%	人·食	前年比%	報	建物	物所有状況	市有物件			
	利用者数	249,361	103.7	240,404	-		借	受面積			0.00	m ²
報	開館日数	322	100.6	320	-		耐泵	震対応(主たる建物)	対応済			
	利用量率	774	103.1	751	-		未	利用スペース		-	140	m²
	(区分•単位)	平成28年度決算 平成27年度決算			(区分•単位)		平成28年	F度決算	平成27年	F度決算		
		千円	前年度比%	千円	前年度比%				千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	371	951.3	39	-)支出計® 定管理料除く)	4,018	45.3	8,873	-
	使用料(減免後)②	0	-	0	-		力	施設のコスト	3,268	40.2	8,123	_
	その他③	371	951.3	39	-		1	事業のコスト	0	_	0	_
25. 収	≪参考≫ 使用料減免額④	3,592	107.2	3,350	-	26. 支	Ľ	人に係るコスト	750	100.0	750	-
入	指定管理者の収入計⑤	258,877	99.1	261,280	-	出	指足	定管理者の支出計⑨	242,021	99.5	243,303	_
	指定管理料⑥	44,689	94.4	47,351	-		力	施設のコスト	71,903	95.1	75,623	_
	利用料金収入	127,354	100.7	126,478	-		E	自主事業以外のコスト	39,972	96.9	41,258	_
	自主事業収入	86,834	99.3	87,451	-		E	自主事業のコスト	60,108	102.2	58,818	_
	その他収入	0	-	0	-			人に係るコスト	70,038	103.6	67,604	-
	収入合計⑦	259,248	99.2	261,319	-		支	出合計⑩	246,039	97.6	252,176	-
(4)÷	用料減免割合(%) (②+④))	100	100.0	100	_			請負費・修繕費	3,136	41.8	7,510	_
収入	設経営における実質的な (⑦-⑥)	214,559	100.3	213,968	_	市	(8)	負担額⑪ −①+⑥)	48,336	86.0	56,185	_
30.指 (⑤一	定管理者の収支差引 ⑨)	16,856	93.8	17,977	_	負 担	市負 (①	負担割合(%) ÷⑩)	20	88.2	22	_
32.旅	西設所管課	スポーツ	ランド推進記	课		33.旅	布設	主管課	スポーツ	ランド推進記	 果	

1.台	帳都	5号 3130	3.利用用途別分類 保養観光施設					
2.施	設名	宮崎市石崎の杜歓鯨館	4.利]用圏域別分類	広域·市域			
		5.基础	を 評価	5				
	評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満 品質評価の評価(偏差値) 供給評価・財務評価の評価(偏差値)					C 50.5 49.4	
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
	①品質評価	劣化度点数(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価がかなり低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	築年数(棟平均) 劣化度点数(棟平均) 耐震対応(棟平均) クレーム点数 パリアフリー未対応(棟平均) 評価値	5.400 年 2.500 件 5.000 点 3.000 点 1.000 件	67.2 47.0 54.9 34.2 49.3 50.5	25.800 1.900 4.700 4.500 0.900	
				評価指標	平成28年度	偏差值	平均	
	給	床面積1㎡当たりの利用量率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標のな	日あたり利用者数 建物1㎡当たりの利用量率 建物1㎡当たりの利用量率	774.000 人	39.8	0.687	人人台
	評価		結果	土地1㎡当たりの利用量率	人			人
				市負担額千円当たりの利用量評価値	5.159	43.6 47.0	49.116	
				評価指標 市負担割合	平成28年度	偏差値 53.7	平均 28.430	%
	③ Bt		指標	市負担額(ソフト)前年度比	92.900 %	52.3	105.033	%
	財務	利用量当たりの市負担額の評価が低い。	の	建物1㎡当たりの市負担額	8.670 千円	52.9	10.726	千円
	評価		結果	土地1㎡当たりの市負担額	千円			千円
	Ш			利用量当たりの市負担額	0.194 千円		0.149	千円
	品質評価の分布図品	等年数(棟平均) 75.0 50.0 50.0 50.0 50.0 第化度点数(棟平 均) り り クレーム点数	供給評価・財務評価の分布図	利用量当たりの 担額 土地1㎡当たりの市 負担額 建物1㎡当たりの市 負担額 市負担額(ソフト)前	市負担			
	質評価(横)/供給・財務評価(縦)	25 30 36 40 46 50 65 70 40 45 50 55 70 55 50 55 70 55 50 55 70 55 50 55 70 55 50 55 70 55 50 50	供給評価(横)/財務評価(縦)	25 30 25 40 •	70 65 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60	60 (5 70	

	(2)他設計価ンート									
4	に立口	施設評価(H29)		/	平成29年度					
	帳番号	3130 京城士工城の共 <i>和</i> 統領	利用用途別分類	保養観光施設						
1	設名 基礎評価の分析(総 括)	宮崎市石崎の杜歓鯨館 総合的なスポーツ施設であるために、	<mark> 利用圏域別分類</mark> 施設等の維持管理に動	広域・市域 費用を生じている。						
2	品質評価分析 ※平 均点未満の評価指標、平均点未満の原 因等	①【評価指標】劣化度点数(棟平均)【原②【評価指標】分レーム点数【原因】施設 数件寄せられている。	原因】建設後間もないな 設の簡易な補修の要望	が、若干の初期不良箇所 望や利用方法等について	等あった。 の意見が、複					
3	供給評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等									
4		【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】利用者数は増加しているが、施	i設の維持管理や修繕	に多額の経費を要する。						
5	定性的な要素の分析 (総括)	宮崎市内に公の温泉施設は3ヶ所(歓 適切な配置、箇所である。	鯨館、高岡温泉やすら	ぎの郷、自然休養村セン	ノター)あるが、					
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名									
7	利用圏域内にある市 の類似(利用用途別 分類が同じ)施設の 有無。有の場合は施 設名	自然休養村センター、白浜オートキャンタミン館、青島ビーチセンター、道の駅								
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名									
9	防災対策施設として の位置づけの有無。 有の場合は内容	なし								
10	交通事情(幹線道路 および公共交通機 関)の状況	県道11号線佐土原町明神山交差点を ティから1日4便の直通バスがある。	東へ約500mの位置。	JR佐土原駅から車で約1	0分。宮交シ					
11		宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10 【将来の人口】355,433人(平成52年10			推計値)					
12	将来の修繕更新に係 る見込み(建て替え の時期・事業費(概 算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】16.4億円程								
13	その他総合評価に勘 案すべき事項(包括 外部監査の結果・対 応、他自治体との比 較など)	合併後の新市建設事業計画に位置づ	け、旧石崎浜荘をリニ	ューアルしたものである。						

	(2)施設評価シート 施設評価(H29) 平成29年度											
/> 1	E 亚 口				平成29年度							
	帳番号	3130	利用用途別分類	保養観光施設								
1/1	<mark>設名</mark> 総合評価(案)(総 括)	宮崎市石崎の杜歓鯨館 建物の評価(案)は「継続」、機能の評価「総量の最適化」の取り組みとしては、 用を削減するため、計画的に修繕する 「質の向上」の取り組みとしては、指定「 率向上を上げ使用料収入を増やすと共	日常点検を行いながら。 。 管理者と連携しながら	長寿命化を図ると共に、 ナービス向上を図ること								
15	建物の評価(案) ※ 継続、改修・更新、処 分(廃止、売却・譲 渡、貸付)から選択		ē									
16	建物の評価(案)の 理由	築6年しか経過していないが、今後も施	設点検を実施し、施設	の長寿命化に取り組ん	でいく。							
	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組(案) ※15が 「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、修繕についての	緊急度・優先度の把握	に努め、計画的に取り約	組んでいく。							
18	機能の評価(案) ※ 継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	継続										
19	機能の評価(案)の 理由	市負担額の削減のために、施設修繕をに向けた取り組みを行う。	- 必要な時期に必要に原	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~								
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組(案) ※18 が「廃止」以外のとき	施設稼働率の増加に向けた取り組みを	E行い、使用料収入の ^均	曽額を図る。								
21	※「総量の最適化」、 「質の向上」、「投資 の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が行政の役割として継続して保有する施約、民間への売却・譲渡に取り組み、が地域が主体となって自立経営が見込ま財産貸付に変更するなど)を進める。また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 施設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、k ⁻ る。	幾能の統合・集							
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし										
24	アンケート(施設利用者)	対象外										

	(2)施設評価シート ************************************										
		施設評価(H29)			平成29年度						
台「	帳番号	3130	利用用途別分類	保養観光施設							
施	設名	宮崎市石崎の杜歓鯨館	利用圏域別分類	広域・市域							
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「総量の最適化」の取り組みとしては、 用を削減するため、計画的に修繕する「質の向上」の取り組みとしては、指定 率向上を上げ使用料収入を増やすとも	日常点検を行いながら。 。 管理者と連携しながらち	ナービス向上を図ること							
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分 (廃止、売却・譲渡、 貸付)から選択	継続									
28	建物の評価の理由	築6年しか経過していないが、今後も旅	。 記点検を実施し、施設・ ・	の長寿命化に取り組ん [・]	でいく。						
29	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組 ※28が「処 分」以外のとき	指定管理者と連携し、修繕についての	緊急度・優先度の把握に	に努め、計画的に取り糺	目んでいく。						
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	継続									
31	機能の評価の理由	市負担額の削減のために、施設修繕を に向けた取り組みを行う。	を必要な時期に必要に届	なじて行うとともに、使用	料収入の増加						
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組 ※31が 「廃止」以外のとき	施設稼働率の増加に向けた取り組みる	を行い、使用料収入の埠	曽額を図る。							
33	の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が 行政の役割として継続して保有する施 約、民間への売却・譲渡に取り組み、が 地域が主体となって自立経営が見込ま 財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 も設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、樹 る。	幾能の統合・集						

施設カルテ (1)施設基本情報シート

1 台	(1)他						を本情報シート 3.利用用途別分類 保養観光施設					
			ニニックス自	自然動物園	1			四三四万点 图域別分類	広域·市域			
	在地(町名・番地)	塩路3083-42			15.設置根拠法令			IA-5% III-5%				
-	ス停	フェニックス自然動物園(520m)					- 1000円 100円 100円 100円 100円 100円 100円 10	 宮崎市フェニックス自然動物園条例			例	
-	<u> </u>							・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		定まっていな		
	<u> </u>	指定管理者(宮崎市フェニックス自然動物				17.1	٥٠١	/미 뜨	Æ 11/1/11/0	200000		
-	定管理期間	園管理株式 平成29年	<u>∜会社)</u> 4月1日~ [∑]	平成34年3	日31日				480			
-	—————————————————————————————————————	その他	77] ГН	1 12,040	7,10114	18 外		っぱい では できます フェニックス 自然 動	क्षण छा			
-	 才産区分	公共用				観					A. T.	
12.於 (設i	が を設概要 置の経緯や背景、施 特徴や必要性など)	開設なのには、日本のにはは、日本のにははは、日本のにははは、日本のにははは、日本のにははは、日本のにははは、日本のにははは、日本のにははは、日本のにはははははははははははははははははははははははははははははははははははは	フェニックスに 用を申けてした、 関したではいいで、 関いでは にに施と経いた はな以上所を の安全で の安全で	E際、存続を 本市が平原 は県内、教内の ある。 まちの は、老朽の いては適宜	望む多く 対13年に の動物提 の場を設は が進んで で で で で で で で で で で で で が 変 が 変 が 変 が 変 が で で が で が で が で で で で で で で で で で で で で	19 内 部]					
13.∃	 Eな利用者		・県外来訪			20.	避業	推所の指定(標高)	_		12.20	m
14.禾	 训用者駐車可能台数	935台				21.‡	投票	 冥所の指定		———— 無	 ŧ	
	土地面積		15	54,024.45	m²		_	延床面積			4,742.65	m ²
22. 土	現況地目	宅地					取	得価額計(開始時簿価計)	66	2634千円		(-)
地 情	土地所有形態	借受					階	数・構造(主たる建物)	地上1階・	SRC•鉄骨	鉄筋コンク	7リート
報	 借受面積		12	29,781.99	m [*]	24.	建	築年(主たる建物)	1971年			
		平成28年	F度決算	平成27年	 F度決算	建物	法	定点検(主たる建物)	対象			
23.	(区分•単位)	人·食	前年比%	人・食	前年比%	情報	建	物所有状況	市有物件			
利用	利用者数	324,422	96.8	335,159	_		借		0.00 m²			
情報	開館日数	325	99.7	326	_		耐	震対応(主たる建物)	対応済			
11.	利用量率	998	97.1	1,028	_		未	利用スペース	0 m²			
		平成28年	F度決算	平成27年	丰度決算			平成28年度決算 平成27年度決算			∓度決算	
	(区分・単位)	千円	前年度比%	千円	前年度比%			(区分•単位)	千円	前年度比%		前年度比%
	市の収入計① (②+③)	3,305	100.6	3,284	_			の支出計⑧ 6定管理料除く)	97,929	126.2	77,573	_
	使用料(減免後)②	0	_	0	_			施設のコスト	84,991	131.1	64,823	_
	その他③	3,305	100.6	3,284	_			事業のコスト	0	_	0	_
25.	≪参考≫ 使用料減免額④	0	_	0	_	26.		人に係るコスト	12,938	101.5	12,750	_
収入	指定管理者の収入計⑤	521,638	97.5	535,226	_	支出	指	定管理者の支出計⑨	531,797	98.6	539,086	_
	指定管理料⑥	61,228	107.4	56,999			L	施設のコスト	70,225	101.4	69,283	
	利用料金収入	165,389	97.3	,				自主事業以外のコスト	85,802	92.1	93,149	_
	自主事業収入	214.609	95.9	223,749				自主事業のコスト	196.880	97.6	201.708	_
	その他収入	80,412	95.2	84,476				人に係るコスト	178,890	102.3	174,946	_
	収入合計⑦	524,943	97.5	538,510			→	出合計⑩	629,726	102.1	616,659	_
	用料減免割合(%)		-	-		28 -	<u> </u>		68,812	117.5	58,569	_
29.施	·(②+④)) 設経営における実質的な	463,715	96.3	481,511	_	31.	市	負担額⑪	155,852	117.3	131,288	_
30.指	(⑦一⑥) 定管理者の収支差引	△ 10,159	263.2	△ 3,860	_	負	市	(h) (h) (h) (h) (h) (h) (h) (h) (h) (h)	25	116.7	21	_
(⑤-				ے J,000		担	(1)÷(10)			۷۱	
32.扩	拖設所管課	公園緑地	課			33.抗	施言	设主管課	公園緑地	課		

1.台	帳都	6370	3.利	川用途別分類	3.利用用途別分類 保養観光施設					
2.旅	設名	宮崎市フェニックス自然動物園	4.利	用圏域別分類	広域•市域					
		5.基础	色評値	5						
	評価指	A:品質:平均点以上、供給·財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給·財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給·財務:平均点未満					Α			
	標	D:品質:平均点未満、供給·財務:平均点未満								
		品質評価の評価(偏差値)				51.5				
		供給評価・財務評価の評価(偏差値)				53.3				
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均			
	1		指	築年数(棟平均)	26.400 年	49.5	25.800	-		
		築年数(棟平均)の評価が低い。	1234	劣化度点数(棟平均)	0.800 件	55.5	1.900			
	評	クレーム点数の評価が低い。	の結	耐震対応(棟平均) クレーム点数	5.000 点 4.000 点	54.9 44.7	4.700 4.500	点点		
	価		果	バリアフリー未対応(棟平均)	0.500 件	52.8	0.900	件		
				評価値		51.5				
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均			
				日あたり利用者数	998.000 人	55.6	723.000	人		
	2		指							
	供給	土地面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。	標の	建物1㎡当たりの利用量率	人			人		
	評		結	建物1㎡当たりの利用量率	台			台		
	価		果	土地1㎡当たりの利用量率	0.006 人	46.4	0.010	人		
				市負担額千円当たりの利用量	2.082	59.5	1.455			
				評価値		53.8				
				評価指標 市負担割合	平成28年度 25.170 %	偏差値 63.1	平均 68.540	%		
	3			市負担額(ソフト)前年度比	25.170 % 119.700 %	35.9	106.500	%		
	財務	市負担額(ソフト)前年比の評価がかなり低い。	の	建物1㎡当たりの市負担額	千円		100.000	千円		
	評価		結果	土地1㎡当たりの市負担額	1.012 千円	54.4	1.827	千円		
	ТШ		木	利用量当たりの市負担額	0.480 千円		0.960	千円		
			/#	評価値		52.8				
	品質評価の分布図品	第年数(棟平均) 75.0 50.0 第七度点数(棟平 均) 50.0 第七度点数(棟平 均) 0.0 7レーム点数 計画 対応(棟平均)	供給評価・財務評価の分布図	利用量当たりの 担額 土地1㎡当たりの市 負担額 建物1㎡当たりの市 負担額 市負担額(ソフト)前 年度比	市負担					
	質評価(横)/供給・財務評価(縦)	55 30 35 40 45 50 55 60 65 70 55 50 50 55 70 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	供給評価(横)/財務評価(縦)	25 30 35 💠 40	70 65 60 55 45 50 55 45 45 50 55	♦ 1	s † 70			

	(2)施設評価ソート 施設評価(H29) 平成29年度									
台	帳番号	6370	利用用途別分類	 保養観光施設	从20十尺					
	设名	宮崎市フェニックス自然動物園	利用圏域別分類	広域·市域						
1		施設を設置してから40年以上の年月かだ、遊戯施設やレストラン、プールなどに起因するクレームはほとんどない。ま敷地面積を必要とする動物園という施	ぶ経ち、全体的に建物の 優先度の高いものから 5た土地1㎡あたりの利)老朽化が進んでいる状況でる 順次リニューアルを行っており 用量率が他施設に比べ低いた。	り、老朽化					
2	均点未満の評価指	平 【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】開園して約46年が経過しており、未改修の老朽化した建物が 多く残っているため。 原 【評価指標】クレーム点数 【原因】利用者数が多いこともあり、年に数件、施設老朽化等に関するク レームがある。								
3		【評価指標】土地面積1㎡当たり利用量			おり、また					
4		【評価指標】市負担額(ソフト)前年比の負担額が高くなっているため。	【原因】委託費の増加や	◌動物の飼料費単価の高騰に	こより、市					
5	定性的な要素の分析 (総括)	動物園は市内だけでなく県内において 年間30万人以上という多くの方が利用		教育等の多面的な機能を持ち	ながら、					
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名	東下山地区営農研修施設								
7	利用圏域内にある市 の類似(利用用途別 分類が同じ)施設の 有無。有の場合は施 設名	フローランテ宮崎、宮崎市津倉市民農 ター、宮崎市道の駅田野総合案内施設 宮崎市自然休養村センター、宮崎白浜 フェニックス、宮崎市道の駅高岡、交流	と、高岡温泉やすらぎ <i>の</i> オートキャンプ場、宮崎	郷、椿山キャンプ場、椿山森 奇市青島ビーチセンター、宮崎	林公園、					
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート 園、宮交ボタニックガーデン青島、こど [・]	・、フェニックスカントリー ものくに、堀切峠	-クラブ他各ゴルフ場、みやざ	き臨海公					
9	防災対策施設として の位置づけの有無。 有の場合は内容									
10	交通事情(幹線道路 および公共交通機 関)の状況	県道宮崎島之内線の塩路交差点から 5年3月よりバス路線が増設され、ゲー が、アクセスは良好。	ーツ葉有料道路山崎イ ・ト前にバス停留所が設	ンターチェンジ方向へ約400㎡ 置された。中心市街地より距	n。平成2 i離はある					
11		宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10 【将来の人口】355,433人(平成52年10			值)					
12	の時期・事業質(概算)) 算))	【建て替えの時期】2020-2050年代 【建て替えの事業費(概算)】13億円程)								
13	案すべき事項(包括 外部監査の結果・対	包括外部監査にて、非公募により指定けた上で評価点をつける必要があると手続きより評価点を設定し選定を行って長期的な方針の作成などができるようした。この意見に対しては、今後施設の	の指摘がなされたため ている。また、非公募を に指定期間を7年や10	、平成26年度以降の指定管理 継続するのであればノウハウ Fとすべきではないか、との意	理者選定 の蓄積、					

	(2)施設評価シート											
/> /	E = #	施設評価(H29)		/□ → /□ √ → =□	平成29年度							
		6370	利用用途別分類	保養観光施設								
施	設名	宮崎市フェニックス自然動物園	利用圏域別分類	広域・市域								
14	総合評価(案)(総 括)	建物の評価(案)は「改修・更新」、機能の評価(案)は「改善」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するためにリニューアル計 画の見直しと既存施設の長寿命化を行う。「質の向上」の取り組みとして、機能は継続しつつ、市負 担額を削減するため、収益の改善等の検討を行う。										
15	建物の評価(案) ※ 継続、改修・更新、処 分(廃止、売却・譲 渡、貸付)から選択	改修•更新	·更新									
16	建物の評価(案)の 理由	基礎評価の品質は平均点未満で、築4 老朽化の著しい建物がある。供給・財 い傾向であることから、現サービスの約	務は平均点以上で、利力	用者数は横ばい傾向、す								
17	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組(案) ※15が 「処分」以外のとき	老朽化した建物の数が多く、将来の更 の再検証と同時に施設の長寿命化を行	新に多額の費用が見込 テい、修繕更新費用の ³	込まれるため、現在のリュ 平準化(長期化)を図る。	ニューアル計画							
18	機能の評価(案) ※ 継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	改善										
19	機能の評価(案)の 理由	供給・財務は平均点以上で、利用者数 ることから、現サービスの質を保ちつつ	(及び市負担額は横ばし)、管理運営手法の改善	ヽである。また、県内唯− 等に向けた検討を行う。	ーの動物園であ							
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組(案) ※18 が「廃止」以外のとき	将来の市負担額(維持管理費等)を削 提言や平成28年度策定宮崎市公共施 の収益の改善等について検討を行う。										
21	※「総量の最適化」、 「質の向上」、「投資 の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が 行政の役割として継続して保有する施 約、民間への売却・譲渡に取り組み、が 地域が主体となって自立経営が見込ま 財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 も設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、ホ ⁻ る。	機能の統合・集							
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし										
24	アンケート(施設利用者)	意見なし										

		施設評価(H29))		平成29年度
台「	帳番号	6370	利用用途別分類	保養観光施設	
施	設名	宮崎市フェニックス自然動物園	利用圏域別分類	広域·市域	
26	総合評価(総括)	建物の評価は「改修・更新」、機能の評「総量の最適化」の取り組みとして、建画の見直しと既存施設の長寿命化を行担額を削減するため、収益の改善等の	物は、将来の修繕更新 fう。「質の向上」の取り		
	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分 (廃止、売却・譲渡、 貸付)から選択	改修•更新			
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点未満で、築4 老朽化の著しい建物がある。供給・財務 い傾向であることから、現サービスの網	務は平均点以上で、利用	用者数は横ばい傾向、市	
29	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組 ※28が「処 分」以外のとき	老朽化した建物の数が多く、将来の更 の再検証と同時に施設の長寿命化を行	新に多額の費用が見込 テい、修繕更新費用の『	≥まれるため、現在のリニ □準化(長期化)を図る。	ニューアル計画
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	改善			
31	機能の評価の理由	供給・財務は平均点以上で、利用者数 ることから、現サービスの質を保ちつつ			-の動物園であ
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組 ※31が 「廃止」以外のとき	将来の市負担額(維持管理費等)を削 提言や平成28年度策定宮崎市公共施 の収益の改善等について検討を行う。			
33	の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が行政の役割として継続して保有する施約、民間への売却・譲渡に取り組み、が地域が主体となって自立経営が見込ま財産貸付に変更するなど)を進める。また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 も設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、機 る。	態能の統合・集

施設カルテ (1)施設基本情報シ

2.施設名 フローランテ宮崎 4.利用圏域別分類 広域・市域 5.所在地(南名・番地) 山崎町414-16 15.設置根拠法令 都市公園法令 6.バス停 フローランテ宮崎 (40m) 16.設置条例 宮崎市都市公園条例 7.開設年月日 平成12年4月29日 17.市の計画 運営開始は定まっていないが改築計画を検討で 17.市の計画 運営開始は定まっていないが改築計画を検討で 17.市の計画 運営開始は定まっていないが改築計画を検討で 17.市の計画 運営開始は定まっていないが改築計画を検討で 17.市の計画 運営開始は定まっていないが改築計画を検討で 17.市の計画 運営開始は定まっていないが改築計画を検討で 18.数 4.数 4.数 4.5 月 18.数 4.数 4.5 月 18.数 4.5 日本では、2.5 上記を出版表表 1.3 上立で、市民や観光客が四季折々にでと共にある生活を来にめ、多数なイベントが作されている。 2.5 売を指を表し、多数なイベントが作されている。 2.5 売を指を表し、多数なイベントが作されている。 2.5 売を持たとが、表がなイベントが作されている。 2.5 元を表に、3.5 かなイベントが作されている。 2.5 元を表にして、5 元を対し、6 元を表して、6 元を対している。 2.5 元を表にして、6 元を表にいるを表にして、6 元を表にいるを表にして、6 元を表にいるを表にして、6 元を表にいるを表にして、6 元を表にいるを表にいるを表にいるを表にして、6 元を表にいるを表にして、6 元を表にいるを表にいるを表にいるを表にいると表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に
6.バス停 フローランテ宮崎(40m) 16.設置条例 宮崎市都市公園条例 2.開設年月日 平成12年4月29日 17.市の計画 運営開始は定まっていないが改業計画を検討で 指定管理者 (宮崎市フェーックス自然動物 固管理株式会社) 9.指定管理相間 平成29年4月1日~平成34年3月31日 18. 外親 11.財産区分 公共用 世界に誇れる「花のまちづくりの推進拠点」として、市民や観光客が囲き折々に花と共にある生活を楽しめ、多彩なイベントが協定れる都市線化植物園の機能を持つ都市公園として平成12年4月に同金自都市線にかた。最近は季節毎にイベント等が実施され 年間30万人以上の方に利用されている。 市民、市外・県外未訪者、団体 20.避難所の指定(標高) ー 10.70 m 14.利用者駐車可能台数 200台 21.投票所の指定 無 3.209.63 ㎡ 現場では、 13.対地目 宅地 48.469.23 ㎡ 報道に対した。 20.避難所の指定 (標高) 第2.209.63 ㎡ 第
7. 開設年月日 平成12年4月29日
#定管理者 (宮崎市フェニックス自然動物 関管理株式会社) 9.指定管理期間 平成29年4月1日~平成34年3月31日 10.用途地域 その他 11.財産区分 公共用 世界に誇れる「花のまちづくりの推進拠点」として、市民や観光客が四季折々に花と共にある生活を楽しめ、多数なイベントが惟される都市線化植物園の機能を持つ都市公と開としているがまた。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は季節毎にイベント等が実施された。最近は手節も変として、一般である。 中央できる大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大
1.
9.指定管理期間
10.用途地域
11.財産区分
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など) 12. 12. 13. 14. 14. 14. 14. 15.
14.利用者駐車可能台数 200台 21.投票所の指定 無 22. 土地間積 48.469.23 m² ※延床面積 3,209.63 m² 現況地目 宅地 土地所有形態 所有 世受面積 0.00 m² と4.建物 23. 利用用 情報 平成28年度決算 平成27年度決算 人・食 前年比% 人・食 前年比% 人・食 前年比% 利用者数 371,220 97.9 379,283 ー 開館日数 利用量率 1,139 98.5 1,156 ー 計開金 1,139 98.5 1,156 ー 21.投票所の指定 無 総延床面積 3,209.63 m² 取得価額計(開始時簿価計) 1331847千円 (一 階数・構造(主たる建物) 対象 建物所有状況 市有物件 借受面積 0.00 m² 耐震対応(主たる建物) 対応済 未利用スペース 0 m²
22. 土地面積 48,469.23 m² 現況地目 宅地 土地所有形態 所有 借受面積 0.00 m² 平成28年度決算 平成27年度決算 人・食 前年比% 人・食 前年比% 利用名数 371,220 97.9 379,283 - 開館日数 326 99.4 328 - 利用量率 1,139 98.5 1,156 - 総延床面積 取得価額計(開始時簿価計) 1331847千円 (一 階数・構造(主たる建物) 対象 建築年(主たる建物) 対象 建物所有状況 情要面積 ののの m² 耐震対応(主たる建物) 対応済 未利用スペース 0 m² ・ 未利用スペース 0 m² 0 m² ・ 未利用スペース 0 m² の m² ・ 未利用スペース 0 m² の m² ・
22. 土地情報 現況地目 宅地 土地所有形態 所有 借受面積 0.00 m² 平成28年度決算 平成27年度決算 人・食 前年比% 利用者数 371,220 97.9 379,283 利用量率 1,139 98.5 1,156 取得価額計(開始時簿価計) 1331847千円 (一階数・構造(主たる建物) 建築年(主たる建物) 対象 建物所有状況 市有物件 借受面積 0.00 m² 耐震対応(主たる建物) 対応済 未利用スペース 0 m²
土地情報 完地 取得価額計(開始時簿価計) 1331847千円 (一階数・構造(主たる建物) 23. 利用用情報 (区分・単位) 平成28年度決算 平成27年度決算 平成27年度決算 中成27年度決算 (区分・単位) 平成28年度決算 平成27年度決算 中成27年度決算 (区分・単位) 本別年度決算 (区分・単位) 中期者数 (区分・単位) 371,220 97.9 379,283 一開館日数 326 99.4 328 一開館日数 326 99.4 328 一別用量率 1,139 98.5 1,156 一 日本の表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表
情報 土地所有形態 所有 24. 23. 利用用情報 (区分・単位) 平成28年度決算 平成27年度決算 大・食 前年比% 人・食 前年比% 情報 は定点検(主たる建物) 対象 利用者数 371,220 97.9 379,283 - 開館日数 326 99.4 328 - 利用量率 1,139 98.5 1,156 - 本利用スペース 0 ㎡
信受面積 0.00 m 23. 利用用 情報 (区分・単位) 平成28年度決算 平成27年度決算 法定点検(主たる建物) 対象 1月 情報 371,220 97.9 379,283 - 開館日数 326 99.4 328 - 利用量率 1,139 98.5 1,156 - 本利用スペース 0 ㎡
23. 川田 情報 平成28年度決算 平成27年度決算 物情報 人・食 前年比% 人・食 前年比% 力用者数 371,220 97.9 379,283 一開館日数 日報 1,139 99.4 328 一層 可需対応(主たる建物) 対応済 利用量率 1,139 98.5 1,156 ー 未利用スペース 0 ㎡
23. 人・食 前年比% 人・食 前年比% 基報 利用者数 371,220 97.9 379,283 - 開館日数 326 99.4 328 - 利用量率 1,139 98.5 1,156 - 未利用スペース 0 ㎡
用情報 利用者数 371,220 97.9 379,283 - 借受面積 0.00 ㎡ 開館日数 326 99.4 328 - 耐震対応(主たる建物) 対応済 利用量率 1,139 98.5 1,156 - 未利用スペース 0 ㎡
報 開館日数 326 99.4 328 - 耐震対応(主たる建物) 対応済 利用量率 1,139 98.5 1,156 - 未利用スペース 0 ㎡
1,11,11,11,11,11,11,11,11,11,11,11,11,1
平成28年度決算 平成27年度決算 平成27年度決算 平成27年度決算 平成27年度決算 (区分・単位) 平成28年度決算 平成27年度決算
千円 前年度比% 千円 前年度比% 千円 前年度比% 千円 前年度比% 千円 前年度比% 千円 前年度比% 千円 前年度比
市の収入計① (②+③) 1,572 120.6 1,304 - 市の支出計® (指定管理料除く) 10,412 104.2 9,995
使用料(減免後)② 0 - 0 - 施設のコスト 3,099 124.2 2,495
その他③ 1,572 120.6 1,304 - 事業のコスト 0 - 0
25. 《参考》 0 - 0 - 26. 人に係るコスト 7,313 97.5 7,500 支
分 指定管理者の収入計⑤ 279,022 97.3 286,664 - 出 指定管理者の支出計⑨ 275,902 99.3 277,908
指定管理料⑥ 205,200 100.0 205,200 - 施設のコスト 78,336 98.7 79,368
利用料金収入 67,124 92.0 72,932 - 自主事業以外のコスト 129,458 100.2 129,233
自主事業収入 0 - 0 - 自主事業のコスト 0 - 0
その他収入 6,698 78.5 8,532 - 人に係るコスト 68,108 98.3 69,307
収入合計⑦ 280,594 97.4 287,968 - 支出合計⑩ 286,314 99.4 287,903
27.使用料減免割合(%)
(④÷(②+④))
(④÷(②+④)) - - - - 28.上事請負責・修繕費 3,099 124.2 2,495 29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥) 75,394 91.1 82,768 - 31. 市負担額① 市 (⑧-①+⑥) 214,040 100.1 213,891
(④÷(②+④)) 28. 上事請負負・修繕負 3,099 124.2 2,495 29.施設経営における実質的な 75.204 91.1 82.768 - 31. 市負担額⑪ 214.040 100.1 213.801

1.台	帳都	6190	3.利]用用途別分類	保養観光施設			
2.施	設名	フローランテ宮崎	4.利]用圏域別分類	広域·市域			
		5.基础	芒評 個	5				
	評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満 品質評価の評価(偏差値)					A 53.8	
		供給評価・財務評価の評価(偏差値)				54.2		
	①品質評価	クレーム点数の評価が低い。	1234	評価指標 築年数(棟平均) 劣化度点数(棟平均) 耐震対応(棟平均) クレーム点数 パリアフリー未対応(棟平均) 評価値	平成28年度 17.900 年 0.100 件 5.000 点 4.000 点 0.400 件	偏差値 56.7 59.0 54.9 44.7 53.5 53.8	平均 25.800 1.900 4.700 4.500 0.900	
	②供給評価		指標の結果	評価指標 日あたり利用者数 建物1㎡当たりの利用量率 建物1㎡当たりの利用量率 土地1㎡当たりの利用量率 市負担額千円当たりの利用量 評価値	台	偏差値 58.5 63.6 54.3 58.8	平均 723.000 0.010 1.455	人台人
	③財務評価	市負担割合の評価が低い。 土地1㎡当たりの市負担額の評価がかなり低い。	結果	評価指標 市負担割合 市負担額(ソフト)前年度比 建物1㎡当たりの市負担額 土地1㎡当たりの市負担額 利用量当たりの市負担額 評価値	平成28年度 74.760 % 99.800 % 千円 4.416 千円 0.577 千円	36.2	1.827	% % 千円 千円
	品質評価の分布図	等年数(棟平均) 75.0 50.0 がリアフリー未対 応(棟平均) がは り り クレーム点数 耐震対応(棟平均)	供給評価・財務評価の分布図	日あたり利用者数 利用量当たりの市負75.0 担額 土地1㎡当たりの市 負担額 建物1㎡当たりの市 負担額 建物1㎡当たりの市 負担額 用量率 ・ 「負担額 「用量率 ・ 「負担額・ 「用量率 ・ 「負担額・ 「用量率) 「の利用量				
	品質評価(横)/供給・財務評価(縦)	75 75 75 77 77 77 77 77 77 77	供給評価(横)/財務評価(縦)	25 50 35 40	75 70 65 60 55 45 50 55 45 55		5 70	

		(と)他設計	• •		T-+00/F-#
/>	E = 0	施設評価(H29)			平成29年度
	帳番号	6190	利用用途別分類	保養観光施設	
施	设名	フローランテ宮崎	利用圏域別分類	広域·市域	
1	基礎評価の分析(総 括)	年間30万人以上という多くの方が利用 等に対しての好意的な意見が多く、高な 持するために多額の経費がかかってよ	質な空間の維持が常に	に期待されている。一方で	
2	品質評価分析 ※平 均点未満の評価指標、平均点未満の原 因等	【評価指標】クレーム点数 【原因】利用	日者数が多いこともあり	、年に数件、施設設備充	き実等のクレー
3	供給評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	なし			
4	財務評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	【評価指標】市負担割合 【原因】施設(ような高質な空間を維持するための経 【評価指標】土地1㎡当たり市負担額	費がかかっている。		
5	定性的な要素の分析 (総括)	フローランテは花のまちづくりの推進拠ながら、年間30万人以上という多くの力			別な施設であり
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名	阿波岐原森林公園(市民の森)、山崎な庫、宮崎市国際海浜エントランスプラサ			5部消防団車
7	利用圏域内にある市 の類似(利用用途別 分類が同じ)施設の 有無。有の場合は施 設名	宮崎市フェニックス自然動物園、宮崎市野町物産センター、宮崎市道の駅田野崎市自然休養村センター、宮崎白浜オフェニックス、宮崎市道の駅高岡、交流	総合案内施設、高岡 一トキャンプ場、宮崎	温泉やすらぎの郷、椿山 市青島ビーチセンター、『	森林公園、宮
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート 園、宮交ボタニックガーデン青島、こど	・、フェニックスカントリ・ ものくに、堀切峠	ークラブ他各ゴルフ場、∂	みやざき臨海公
9	防災対策施設として の位置づけの有無。 有の場合は内容	なし			
10	交通事情(幹線道路 および公共交通機 関)の状況	県道宮崎島之内線の山崎町北交差点り、駐車場内にバス停留所が設置されから約30分、日中1時間に1便運行して	ているなど、交通事情	方向へ約300m程度東進 は良好である。(バスで)	した位置にあ は市内中心部
11		宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10 【将来の人口】355,433人(平成52年10			推計値)
12	の時期・事業質(概算)) 算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】13.7億円程			
13	案すべき事項(包括 外部監査の結果·対	包括外部監査にて、現在非公募で一括 園とフローランテ宮崎について、両施設 ンテ宮崎を公募にする検討をすべきとの 交流や運営に関する効率化など統合な る。	との相乗効果が明確に の意見が出された。この	ならないのであれば、分 の意見に対しては、両施	・離してフローラ 設間の人的な

	(2)施設評価シート 							
ᄼᅪ	帳番号	施設評価(H29)	利用用途別分類	【	十八29年度			
	收留亏 设名	フローランテ宮崎	利用圏域別分類	保養観光施設 広域·市域				
<u>加</u> 14		建物の評価(案)は「継続」、機能の評価 「総量の最適化」の取り組みとして、建 存施設の長寿命化を行う。「質の向上」 イベント等のあり方について検討を行う	ー 画(案)は「改善」とする。 物は、将来の修繕更新 」の取り組みとして、市賃	。 費用を削減するために				
15	建物の評価(案) ※ 継続、改修・更新、処 分(廃止、売却・譲 渡、貸付)から選択	継続						
16	建物の評価(案)の 理由	基礎評価の品質は平均点以上で、建物では、 る。供給・財務は平均点以上で、利用で 現サービスの質を保ちつつ、本施設も	者は増加傾向、市負担?					
17		当面は大規模な修繕更新は発生しなしないな経費支出を抑制し、平準化(長期化)		 こより長寿命化を図り、気	亜期的かつ高額			
18	機能の評価(案) ※ 継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	改善						
19	機能の評価(案)の 理由	供給・財務は平均点以上で、利用者は 花のまちづくりの推進拠点という重要な 保ちつつ、市負担額を削減するため、「	よ役割を引き続き担う必	要があることから、現サ				
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組(案) ※18 が「廃止」以外のとき	将来の市負担額(維持管理費等)を削 提言や平成28年度策定宮崎市公共施 の収益の改善等について検討を行う。						
21	※「総量の最適化」、 「質の向上」、「投資 の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が行政の役割として継続して保有する施約、民間への売却・譲渡に取り組み、が地域が主体となって自立経営が見込ま財産貸付に変更するなど)を進める。また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 も設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、ホ トる。	機能の統合・集			
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし						
24	アンケート(施設利用者)	意見あり(別紙 16ページ参照)						

		(2)施設記 施設評価(H29)			平成29年度
台「	帳番号	6190	利用用途別分類	保養観光施設	
施	设名	フローランテ宮崎	利用圏域別分類	広域·市域	
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「「総量の最適化」の取り組みとして、建存施設の長寿命化を行う。「質の向上」イベント等のあり方について検討を行き	物は、将来の修繕更新 の取り組みとして、市賃		
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分 (廃止、売却・譲渡、 貸付)から選択	継続			
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点以上で、建物では、 る。供給・財務は平均点以上で、利用で 現サービスの質を保ちつつ、本施設も	皆は増加傾向、市負担 額		
29	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組 ※28が「処 分」以外のとき	当面は大規模な修繕更新は発生しないな経費支出を抑制し、平準化(長期化)	いと思われるが、補修に を図る。	より長寿命化を図り、短	互期的かつ高額
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	改善			
31	機能の評価の理由	供給・財務は平均点以上で、利用者は 花のまちづくりの推進拠点という重要な 保ちつつ、市負担額を削減するため、「	な役割を引き続き担う必	要があることから、現サ	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組 ※31が 「廃止」以外のとき	将来の市負担額(維持管理費等)を削 提言や平成28年度策定宮崎市公共施 の収益の改善等について検討を行う。			
33	の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が行政の役割として継続して保有する施約、民間への売却・譲渡に取り組み、が地域が主体となって自立経営が見込ま財産貸付に変更するなど)を進める。また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 施設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、機 る。	機能の統合・集

施設カルテ (1)施設基本情報シ

1.台	帳	番号	4370		<u> </u>).他敌基/			~ 用途別分類	保養観光	 施設		
2.施	設	 t名	椿山森林	公園			4.利	川用		広域·市均	 艾		
5.所	在	土地(町名・番地)	鏡洲4342·	-1			15.	设置	 置根拠法令				
6./ヾ	ス	·停				16.	设置		宮崎市森村	木公園条例			
7.開設年月日			平成2年5	月15日			17.ī	市の)計画	現状のま	 ま当面は存	続する	
8.施設運営形態(指定管理者)			指定管理者	首(宮崎中央	·森林組合))					and the		
9.指	定	管理期間	平成26年	4月1日~□	严成31年3	月31日	10		on the				
10.月	Ħi	途地域	その他				18 外						
11.財産区分		公共用				観	Ė						
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)			て世界一の 民の余暇活 に設置した	用し、市制) を は の を動や森林 の の の は の は で で で で で で で で で で の で の で	施行60周4 E目指すとと 改育に活用 、国内で初 定されてお	年事業とし ともに、市 するため めて「国際 り、園内に	19 内 部	ı					
13.∄	ÈΖ	な利用者	一般市民				20.	群 葉	鮮所の指定(標高)	_		380.00	m
14.利用者駐車可能台数		河用者駐車可能台数 50台			21.投票所の指定			無					
22.	±	上地面積		40)1,315.84	m [*]		総	延床面積			163.48	m [*]
_	瑪	見況地目	宅地					取	导価額計(開始時簿価計)	2	5302千円		(-)
情	#	上地所有形態	所有					階	数・構造(主たる建物)	地上1階・	W∙木造		
報	借	昔受面積			0.00	m³	24. 建	建	築年(主たる建物)	1990年			
	(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	年度決算	物	法	定点検(主たる建物)	対象			
23. 利		区分 羊位/	人·食	前年比%	人·食	前年比%	TIA	建	物所有状況	市有物件			
	禾	川用者数	11,541	77.6	14,866	-		借	受面積			0.00	m²
報	開	開館日数	365	100.0	365	-		耐	震対応(主たる建物)	対応済			
	禾	1月量率	32	78.0	41	-		未	利用スペース			0	m²
		(区分•単位)	平成28年	F度決算	平成27年	丰度決算			(区分•単位)	平成28年	∓度決算	平成27年	F度決算
			千円	前年度比%	千円	前年度比%				千円	前年度比%	千円	前年度比%
		īの収入計① ②+③)	9	100.0	9	-			の支出計⑧ 背定管理料除く)	6,928	198.9	3,484	_
		使用料(減免後)②	0	_	0	-			施設のコスト	6,178	226.0	2,734	_
		その他③	9	100.0	9	-			事業のコスト	0	_	0	_
25.		《参考》 使用料減免額④	0	_	0	-	26. 支		人に係るコスト	750	100.0	750	_
収入	拃	旨定管理者の収入計⑤	14,342	99.4	14,425		出出	指	定管理者の支出計⑨	12,981	95.1	13,645	_
		指定管理料⑥	14,123	100.0	14,123	_			施設のコスト	11,624	92.6	12,558	_
		利用料金収入	0	_	0	_			自主事業以外のコスト	0	-	0	_
		自主事業収入	199	65.9	302	_			自主事業のコスト	0	-	0	_
		その他収入	20	_	0	_			人に係るコスト	1,357	124.8	1,087	_
	収	又入合計⑦	14,351	99.4	14,434			支	出合計⑩	19,909	116.2	17,129	
		料減免割合(%) ②+④))	_	_	-	-	28.	工事	ā請負費·修繕費	6,167	226.5	2,723	_
29.施	設	経営における実質的な	228	73.3	311	-			負担額⑪ (一①+⑥)	21,042	119.6	17,598	_
	定	管理者の収支差引	1,361	174.5	780			市	負担割合(%))÷⑩)	106	102.9	103	
32.旅	包	設所管課	森林水産	課			33.抗	施討	全主管課	森林水産	課		

1.台				利用用途別分類 保養観光施設				
2.施設名 椿山森林公園 4. 5.基礎評				川用圏域別分類	広域·市域			
		5.基礎	き 評 位	5				
	評価指	A:品質:平均点以上、供給·財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給·財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給·財務:平均点未満					С	
	標	D:品質:平均点未満、供給·財務:平均点未満						
		品質評価の評価(偏差値)					52.1	
		供給評価・財務評価の評価(偏差値)					42.6	
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
	1		指	築年数(棟平均)	26.100 年	49.7	25.800	-
	品	築年数(棟平均)の評価が低い。	標の	劣化度点数(棟平均)	0.200 件	58.5	1.900	
	質評	クレーム点数の評価が低い。		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700	点
	価			クレーム点数	4.000 点	44.7	4.500	点
				バリアフリー未対応(棟平均)	0.500 件	52.8	0.900	件
				評価値	亚代00左连	52.1	ᅲ	
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
				日あたり利用者数	32.000 人	36.0	723.000	人
	②供給評価	利用量率の評価がかなり低い。	指標	7444 2W4 U O TURRET				
		土地面積1㎡当たりの利用量率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価がかなり低い。	の結	建物1㎡当たりの利用量率				人 台
				建物1㎡当たりの利用量率 土地1㎡当たりの利用量率		20.0	0.010	
			果	市負担額千円当たりの利用量率	0.000 人 0.548	39.9 36.2	0.010 1.455	人
				評価値	0.546	37.4	1.400	
				評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
				市負担割合	105.690 %	38.8	68.540	%
	③ 財		指標	市負担額(ソフト)前年度比	100.000 %	57.0	106.500	%
	務	利用量当たりの市負担額の評価がかなり低い。	の結果	建物1㎡当たりの市負担額	千円			千円
	評価			土地1㎡当たりの市負担額	0.052 千円	59.5	1.827	千円
	Щ			利用量当たりの市負担額	1.823 千円		0.960	千円
			/#	評価値		47.8		
	品質評価の分布図品	等年数(棟平均) 75.0 50.0 50.0 9化度点数(棟平 均) クレーム点数 耐震対応(棟平均)	供給評価・財務評価の分布図	日あたり利用者数 利用量当たりの市負75.0 担額 土地1㎡当たりの市 負担額 乗物1㎡当たりの市 建物1㎡当たりの市 建物1㎡当たりの市				
	質評価(横)/供給・財務評価(縦)	70 65 60 65 70 95 60 65 70 95 60 65 70 95 60 65 70 95 60 65 70 95 60 60 65 70 95 60 60 65 70 95 60 60 65 70 95 60 60 65 70 95 60 60 65 70 95 60 60 65 70 95 60 60 65 70 95 60 60 65 70 95 60 60 60 60 60 95 70 95 60 60 60 60 95 70 95 60 60 60 95 70 95 60 60 60 95 70 95 60 95 60 95 70 95 60 95 60 95 70 95 60 95 70 95 60 95 70 95 60 95 70	供給評価(横)/財務評価(縦)	25 30 35 40	70 65 60 55 46 50 55 55 46 47 40 35	♦ † 60 €	s † 70	

				平成29年	丰度
	帳番号	4370	利用用途別分類	保養観光施設	
施	設名	椿山森林公園	利用圏域別分類	広域・市域	
1	基礎評価の分析(総 括)	供給・財務評価:平均点未満となってに	いる。		
2	品質評価分析 ※平 均点未満の評価指標、平均点未満の原 因等	①【評価指数】築年数(棟平均)【原因】 ②【評価指数】クレーム点数【原因】イク 度寄せられている。			回程
3	供給評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	①【評価指数】日あたり利用者数 【原】 用者の大半を占めているため。また、3 ②【評価指数】土地1㎡当たりの利用量 め。 ③【評価指数】市負担額千円当たりの3	交通の利便性が悪いた 率 【原因】面積に対し	:め。 、て年間を通じての利用者数が少な	
4	財務評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満の 原因等	①【評価指数】市負担割合 【原因】「国め、入園料を徴収してない。そのため、 ②【評価指数】利用量当たりの市負担額	他の施設に比べて市賃	負担割合が大きい。	るた
5	定性的な要素の分析 (総括)	市全体に同じ利用用途の施設が点在し	している。		
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名	なし			
7	利用圏域内にある市 の類似(利用用途別 分類が同じ)施設の 有無。有の場合は施 設名	宮崎市津倉市民農園管理棟、宮崎市 市道の駅田野、高岡温泉やすらぎの約 、青島海水浴場管理棟、宮崎市道の駅 物園、道の駅高岡ふるさと特産品セン	郎、宮崎市自然休養村 駅フェニックス、フロー・	tセンター、宮崎白浜オートキャンプ ランテ宮崎、宮崎市フェニックス自然	場 然動
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし			
9	防災対策施設として の位置づけの有無。 有の場合は内容	なし			
10		国道220号線南バイパスから県道塩鶴 置にあり、市中心部から、車で50分程度 非常に悪い。			
11	施設の所在地付近に おける現在人口およ び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10 【将来の人口】355,433人(平成52年10			
12	将来の修繕更新に係 る見込み(建て替え の時期・事業費(概 算))	【建て替えの時期】2030年代 【建て替えの事業費(概算)】0.5億円程	度		
13	外部監査の結果・対	包括外部監査対象外、本施設は市制施 本で初めて「国際優秀ツバキ庭園」とし 料とする項目がある。			

			<u> 半価シート</u>)		平成29年度			
台	長番号	4370	利用用途別分類	保養観光施設	1 19020 1 12			
	设名	椿山森林公園	利用圏域別分類	広域・市域				
1.4	総合評価(案)(総 括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価物は将来の修繕更新費用を削減するがで、市負担額を削減するために、公園が	ー 画(案)は「改善」とする ために計画的な保全に	。「総量の最適化」の取り 取り組む。「質の向上」 <i>0</i>				
15	建物の評価(案) ※ 継続、改修・更新、処 分(廃止、売却・譲 渡、貸付)から選択	継続						
16	建物の評価(案)の 理由	今後5年以内に大規模改修や建て替え	の予定はない。					
17	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組(案) ※15が 「処分」以外のとき	計画的な保全に取り組むこととする。	画的な保全に取り組むこととする。					
18	機能の評価(案) ※ 継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	改善						
19	機能の評価(案)の 理由	利用者数増を図るとともに業務内容を.	見直すことで改善する。	,				
20		公園内の維持管理等の業務内容の見 客増を図る取り組みを推進する。	直しを行う。また、椿の	開花時期のみならず、生	手間を通して集			
21	※「総量の最適化」、 「質の向上」、「投資 の厳選」を踏まえた	(案) 新たな施設は建設せず、周辺の民間施設との競合の有無、採算性(収益性)、公共性などを踏まだして政の役割として継続して保有する施設か十分に検証した上で、施設の長寿命化、機能の統合・投資 約、民間への売却・譲渡に取り組み、施設の数・面積を削減する。 えた 地域が主体となって自立経営が見込まれる施設は、可能な限り管理主体の変更(例:指定管理か財産貸付に変更するなど)を進める。 また、使用料の適正化に取り組む。						
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見あり(別紙 6ヶ	ページ参照)					
24	アンケート(施設利用者)	意見なし						

		(2)施設。 施設評価(H29)			平成29年度
台「	長番号	4370	利用用途別分類	保養観光施設	
施	设名	椿山森林公園	利用圏域別分類	広域·市域	
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「 の修繕更新費用を削減するために計画 額を削減するために、公園管理業務の	画的な保全に取り組む。		
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分 (廃止、売却・譲渡、 貸付)から選択	継続			
28	建物の評価の理由	今後5年以内に大規模改修や建て替え	_の予定はない。		
29	将来の修繕更新費 用を削減する具体的 な取組 ※28が「処 分」以外のとき	計画的な保全に取り組むこととする。			
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集 約、変更、移転、廃止 から選択	改善			
31	機能の評価の理由	利用者数増を図るとともに業務内容を	見直すことで改善する。		
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体 的な取組 ※31が 「廃止」以外のとき	公園内の維持管理等の業務内容の見 客増を図る取り組みを推進する。	直しを行う。また、椿の	開花時期のみならず、年	F間を通して集
33	の厳選」を踏まえた	新たな施設は建設せず、周辺の民間が行政の役割として継続して保有する施約、民間への売却・譲渡に取り組み、が地域が主体となって自立経営が見込ま財産貸付に変更するなど)を進める。また、使用料の適正化に取り組む。	設か十分に検証した上 施設の数・面積を削減す	で、施設の長寿命化、橋 つる。	態能の統合・集